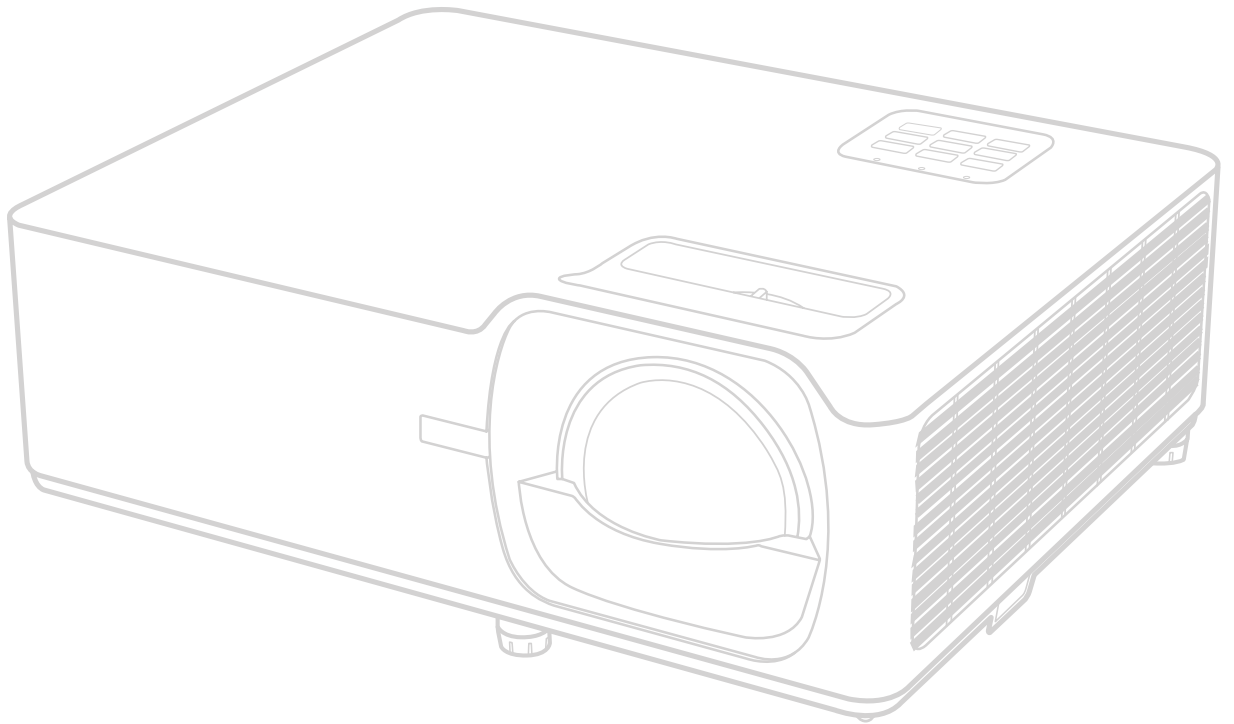


LS710HD

LS751HD

プロジェクター
ユーザーガイド



ViewSonic® 製品をお買い上げいただきありがとうございます。 うございます。

ViewSonic® は技術進化、技術革新、簡略化において世界の期待を超えるビジュアルソリューションを提供し続けております。ViewSonic® は世界にインパクトを与える必ずお客様にご満足いただける ViewSonic® 製品をお届けします。

このたびは、ViewSonic® 製品をお買い上げいただきありがとうございます。

安全のためのご注意 - 全般

本機をご使用になる前に、次の**安全のためのご注意**をお読みください。

- 本書は必要なときにいつでも参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。
- 注意や警告はすべてお読みになり、その指示に従ってください。
- 適切な通気のために、本機の周囲は最低 20" (50 cm) のスペースを保ってください。
- 本機は通気のよい場所に設置してください。熱がこもるため、本機の上に物を載せないでください。
- 本機は平坦な安定した場所に設置してください。本機が落下すると、ケガや故障の原因となります。
- 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15° を超える状態では使用しないでください。
- 動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。強い光線なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 本機のランプをオンにするときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。
- 本機が作動しているときに投写レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。
- ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクターの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、本機を常温に戻してください。
- ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。
- ランプ部や電子部品の交換は、必ず本機の電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。
- 本機を動かす時には、落としたりぶついたりしないでください。
- 本機や接続ケーブルの上に重い物を載せないでください。
- 装置を縦向きにしないでください。縦向きにするとプロジェクターが倒れ、けがをしたり故障したりする恐れがあります。
- 本機を直射日光や熱源の熱にさらさないでください。ラジエーターやヒーター、ストーブ、その他の熱源（アンプなど）の近くに本機を設置すると、本機が高温になり危険です。
- 本機の上または近くに液体を置かないでください。本機の内部に液体がこぼれると故障の原因になります。本機が濡れてしまった場合は、コンセントからプラグを抜いて、お近くのサービスセンターに補修を依頼してください。

- 本機が作動しているときには、通気孔から熱風と臭気を感じる場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥によるものではありません。
- 有極プラグやアースプラグの安全対策は外さないでください。有極プラグには2つのブレードがあり、1つはもう片方よりも幅広になっています。アースタイプのプラグには2つのブレード、接地用突起が1つあります。幅広のブレードと3つ目の突起は安全対策用です。プラグがコンセントに合わない場合は、無理にプラグをコンセントに差し込もうとしないでください。
- コンセントに差し込むときに、接地用突起を切除しないでください。接地用突起は絶対に外さないでください。
- 電源コードは特にプラグ部分を踏みつけたり、強く挟んだりしないでください。
- 国によっては、電源電圧が不安定な場合もあります。本機は電源がAC100～240Vの電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や±10Vのサージが発生すると故障する可能性があります。電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置(UPS)にプロジェクターを接続することをお勧めします。
- 煙、異常音、異臭が認められる場合は、直ちに本機の電源を切り販売店またはViewSonic®にお問合せください。本機を使い続けることは危険です。
- 付属品/アクセサリは、メーカーが指定するものだけをご使用ください。
- 長時間本機を使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 点検修理については、すべてサポートセンターにお問い合わせください。



注意：この製品からは、光放射が放出される可能性があります。他の光源同様、直接光線を見つめることはお止めください。

RG2 IEC 62471-5:2015

安全のためのご注意 - 天井取り付け

本機をご使用になる前に、次の**安全のためのご注意**をお読みください。

本機を天井に取り付ける場合は、適合する天井取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

適合しない天井取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないため本機が正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

プロジェクター天井取り付けキットは、本機を購入された販売店でお買い求めいただけます。また別途セキュリティケーブルをお求めになり、プロジェクターの盗難防止用ロックスロットと天井取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお勧めします。このようにしておくと、万一天井取り付けブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクターを補助的に支えることができます。

目次

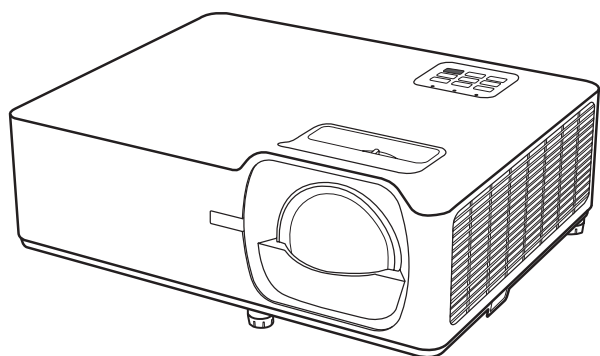
安全のためのご注意 - 全般	3
はじめに	9
パッケージの内容 - LS710HD	9
パッケージの内容-LS751HD	10
各部の名称	11
プロジェクター	11
キーパッド	12
インジケータライト	12
入出力ポート	13
リモコン	14
セットアップ	18
場所の選択 - 投影方向	18
投影寸法 - LS710HD.....	19
投影寸法 - LS751HD.....	23
プロジェクターの取り付け	27
セキュリティバーの使用	27
本体の接続	28
電源との接続	28
外付け機器への接続	29
HDMI接続	29
オーディオ接続.....	30
USBおよびネットワーク接続	31
RS-232接続	32
プロジェクターの使用方法	33
プロジェクターを起動する	33
入力ソースを選択する	34
投影画像を調整する	35
プロジェクターの高さと投影角度を調整する	35
フォーカス、キーストーン、レンズシフトの調整	36
プロジェクターをシャットダウンする	37

プロジェクターを操作する	38
オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー.....	38
メニューナビゲーション.....	39
メインメニュー構成.....	40
メニュー操作.....	48
ディスプレイメニュー.....	48
オーディオメニュー.....	54
セットアップメニュー.....	55
ネットワークメニュー.....	58
ネットワークを介してプロジェクターを制御する.....	59
情報メニュー.....	60
付録	61
仕様.....	61
プロジェクターの寸法.....	62
タイミングチャート.....	63
HDMI PC タイミング.....	63
3Dサポートタイミング.....	64
トラブルシューティング.....	65
LEDインジケータ.....	67
メンテナンス.....	68
お手入れの際の注意.....	68
レンズを清掃する.....	68
ケースのお手入れ.....	68
プロジェクターを保管する.....	68

規制および補修情報	69
コンプライアンス情報.....	69
FCC 準拠宣言.....	69
Industry Canada Statement.....	69
ヨーロッパ諸国における CE 準拠.....	69
RoHS2 準拠宣言.....	70
インドの有害物質に関する制限.....	71
廃棄処分について.....	71
著作権情報.....	72
カスタマーサービス.....	73
限定保証.....	74

はじめに

パッケージの内容 - LS710HD



①



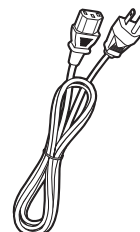
②



③



④

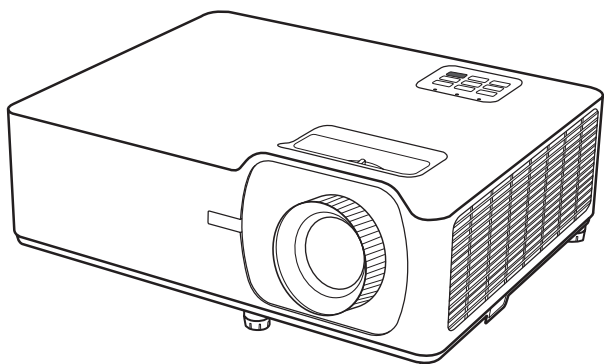


⑤

数	詳細
1	プロジェクター
2	リモコン
3	電池
4	クイックスタートガイド
5	電源コード

注意事項：同梱されている電源コードとリモコンは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。詳細については、お近くの販売代理店にお問い合わせください。

パッケージの内容 -LS751HD



①



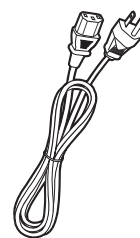
②



③



④

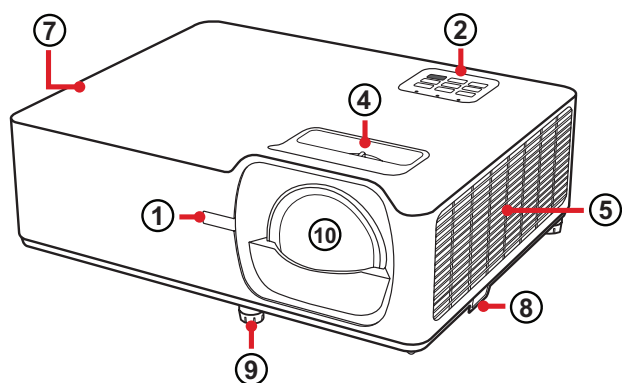


⑤

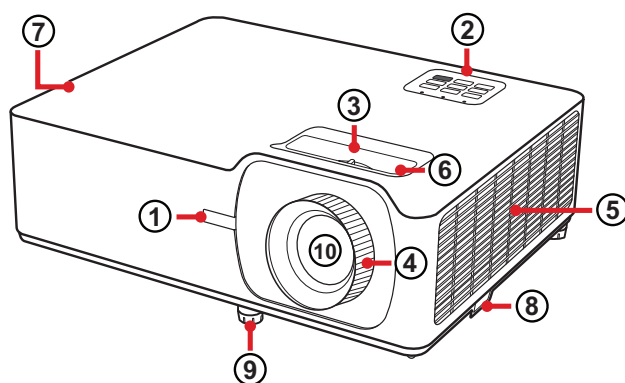
数	詳細
1	プロジェクター
2	リモコン
3	電池
4	クイックスタートガイド
5	電源コード

注意事項：同梱されている電源コードとリモコンは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。詳細については、お近くの販売代理店にお問い合わせください。

各部の名称 プロジェクター



LS710HD

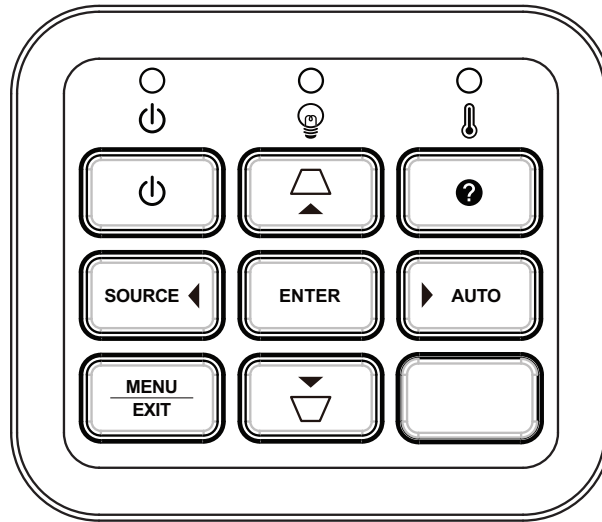


LS751HD

数	詳細
1	リモート IR センサー
2	キーパッド
3	レンズシフト
4	フォーカスリング
5	通気口 (吸気)
6	ズームリング
7	通気口 (排気)
8	セキュリティバー
9	アジャスターフット
10	投影レンズ

注意事項： プロジェクターの通気口 (吸気) および通気口 (吸気) を塞がないでください。

キーパッド

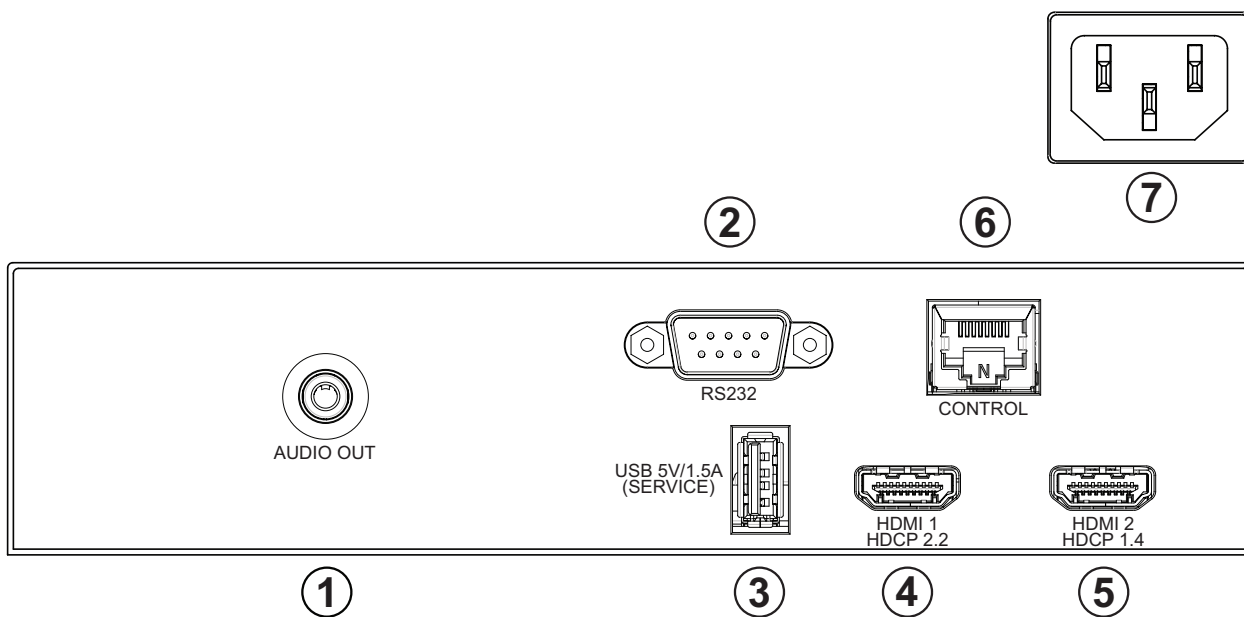


ボタン		詳細
⏻	電源	プロジェクターをスタンバイモードと電源オンに間で切り替えます。
▭ ▭	キーストーン	角度のある投影から生じる歪んだ画像を手動で修正します。
◀▶▲▼	ナビゲーション	目的のメニュー項目を選択し、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューがアクティブになったときに調整を行います。
MENU EXIT	メニュー / 終了	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューをオンまたはオフにします。
SOURCE	ソース	入力ソース選択バーを表示します。
?	Information (情報)	情報メニューを表示します。
ENTER	入力	OSD メニューがアクティブになったときに、選択したオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目を有効にします。
AUTO	Auto (自動)	表示される画像の最適な画像タイミングを自動的に決定します。

インジケータライト

インジケータライト	詳細
ⓘ ⏻	電源インジケータライト
ⓘ 💡	光源インジケータライト
ⓘ 🌡️	温度インジケータライト

入出力ポート

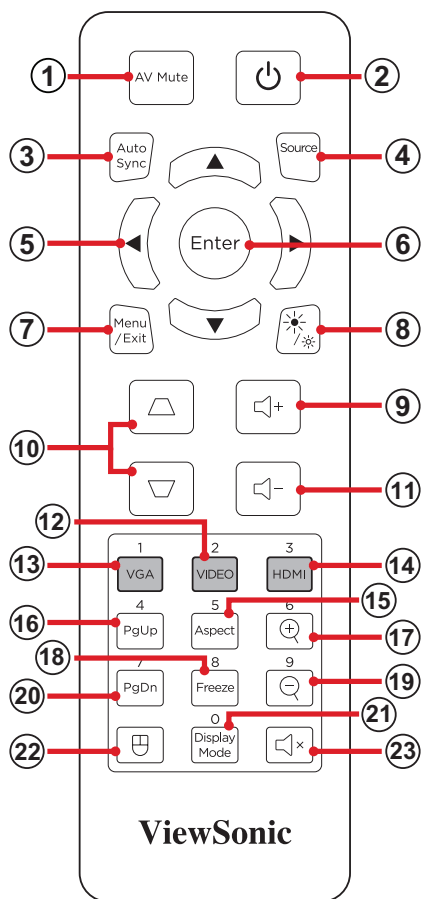










ポート		詳細
1	音声出力	音声信号出力ソケット。
2	RS-232	RS-232 制御ポート。
3	USB (5V/1.5A 出力) (サービス)	電源とサービスのための USB タイプ A ポート。
4	HDMI 1 ¹	HDMI ポート。
5	HDMI 2 ²	HDMI ポート。
6	RJ-45	LAN ポート。
7	AC 入力	AC 入力ソケット。





¹ HDCP 2.2 をサポートします。

² HDCP 1.4 をサポートします。

リモコン



ボタン		詳細	
1	AV ミュート		画像を非表示にし、音声を消音します。
2	電源		プロジェクターをオンまたはオフにします
3	自動同期		表示される画像の最適な画像タイミングを自動的に決定します。
4	ソース		入力ソース選択バーを表示します。
5	ナビゲーションボタン		目的のメニュー項目に移動して選択し、調整します。
6	入力		選択を確定します。
7	メニュー / 終了		<ul style="list-style-type: none"> • オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューをオンまたはオフにします。 • 前の OSD メニューに戻ります。 • メニュー設定を終了して保存します。
8	Brightness (輝度)		輝度モード選択バーを表示します。

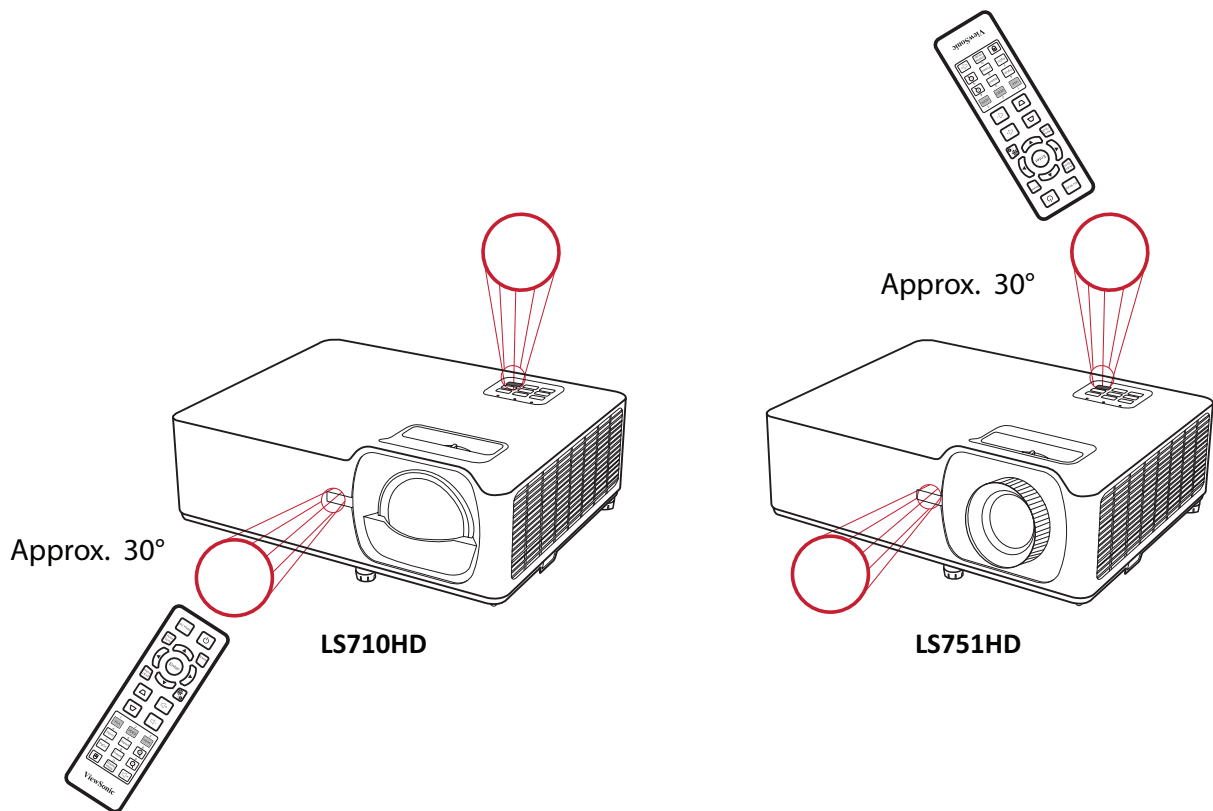
ボタン		詳細
9	音量(上)	 音量レベルを上げます
10	キーストーン	  歪んだ画像を手動で修正します。
11	音量(下)	 音量レベルを下げます
12	Video (ビデオ)	 サポートされていないボタン
13	VGA	 サポートされていないボタン
14	HDMI	 HDMI 1 または HDMI 2 入力ソースを選択します。
15	アスペクト	 アスペクト比選択バーを表示します。
16	ページ(上)	 サポートされていないボタン
17	ズームイン	 投影される画像サイズを大きくします。
18	フリーズ	 投影される画像をフリーズします。
19	ズームアウト	 投影される画像サイズを小さくします。
20	ページ(下)	 サポートされていないボタン
21	Display Mode (ディスプレイモード)	 カラーモード選択バーを表示します。
22	マウスモード	 サポートされていないボタン
23	ミュート	 ミュート / ミュート解除します。

リモコン - 受信機の範囲

リモコンが正しく機能するようにするために、次の手順に従ってください。

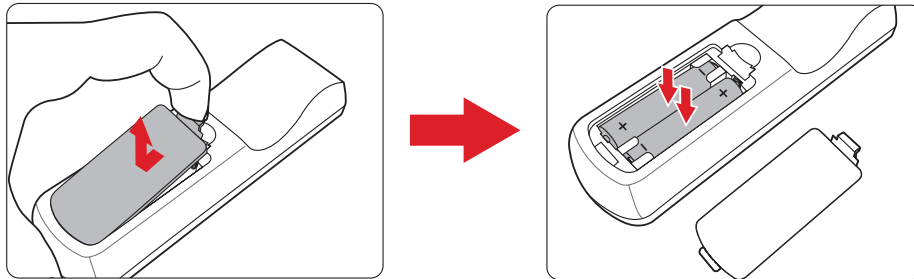
1. リモコンを、プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30°以内で保持してください。
2. リモコンとセンサーの間の距離が、以下を超えないようにしてください：
 - フロント IR: 10m (32.8 フィート)
 - トップ IR: 7m (23 フィート)

注意事項：赤外線 (IR) リモコンセンサーの位置については、図を参照してください。



リモコン - 電池の交換

1. フィンガーグリップを押しながらスライドさせて、リモコンの底面から電池カバーを取り外します。
2. 必要に応じて既存の電池を取り外し、2本の単四電池を取り付けます。
注意事項：表示されているように電池の極性を確認してください。
3. 電池カバーをベースに合わせて押し込み、元の位置に戻します。



注意事項：

- リモコンと電池を暑い場所や湿気の多い場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じまたは同等のタイプのもののみと交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長期間使用しない場合は、リモコンの損傷を防ぐために電池を取り外してください。
- 使用済みの電池は、メーカーの指示および地域の環境規制に従って処分してください。

セットアップ

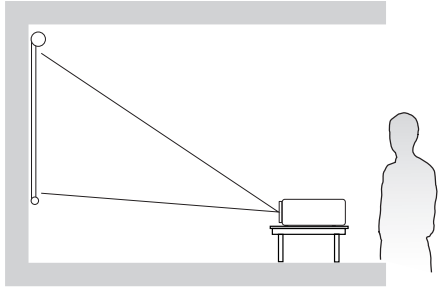
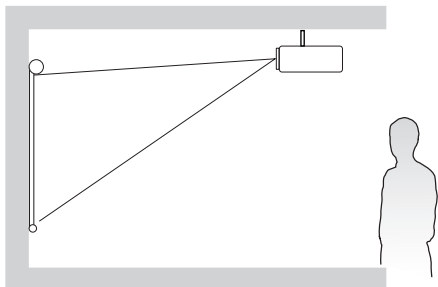
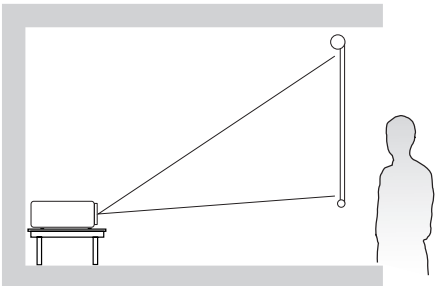
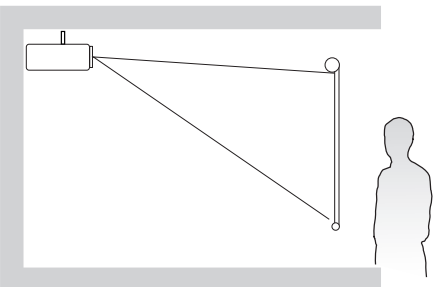
本章では、プロジェクターのセットアップについてご説明します。

場所の選択 - 投影方向

設置場所は、個人の好みや部屋のレイアウトによって決まります。次の点を考慮してください。

- スクリーンのサイズと位置。
- 適切なコンセントの場所。
- プロジェクターと他の装置との間の場所と距離。

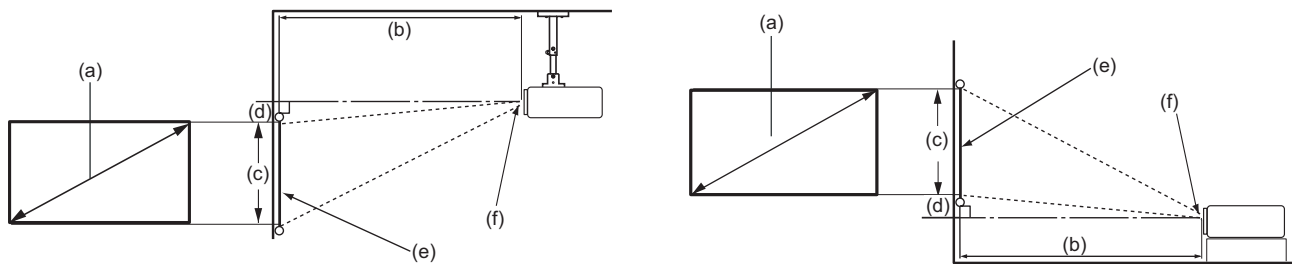
プロジェクターは、次のいずれかの場所に設置するように設計されています。

場所	
<p>フロント</p> <p>プロジェクターはスクリーンの正面の床の近くに配置されます。</p>	
<p>天井 - トップ</p> <p>プロジェクターは、スクリーンの正面の天井から上下逆に吊り下げられます。</p>	
<p>リア 1</p> <p>プロジェクターは、スクリーンの後ろの床の近くに配置されます。</p>	
<p>リア - トップ 1</p> <p>プロジェクターは、スクリーンの後ろの天井から上下逆に吊り下げられます。</p>	

¹背面投影スクリーンが必要です。

投影寸法 - LS710HD

- 16:9 スクリーン上の 16:9 画像



注意事項：

- (e) = スクリーン
- (f) = レンズの中心

16:9 スクリーン上の 16:9 画像

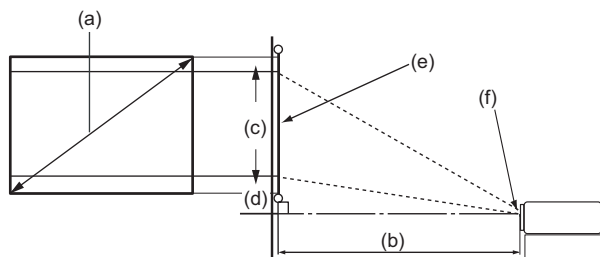
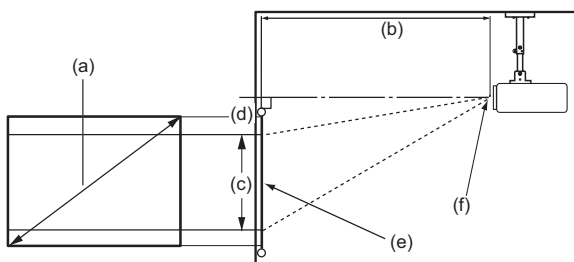
(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直 オフセット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
40	1016	17.29	439	17.29	439	19.61	498	3.14	80
50	1270	21.62	549	21.62	549	24.50	622	3.92	100
60	1524	25.94	659	25.94	659	29.40	747	4.70	119
70	1778	30.26	769	30.26	769	34.30	871	5.49	139
80	2032	34.58	878	34.58	878	39.20	996	6.27	159
90	2286	38.91	988	38.91	988	44.10	1120	7.06	179
100	2540	43.23	1098	43.23	1098	49.00	1245	7.84	199

(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直 オフセット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
110	2794	47.55	1208	47.55	1208	53.90	1369	8.62	219
120	3048	51.88	1318	51.88	1318	58.80	1494	9.41	239
130	3302	56.20	1427	56.20	1427	63.70	1618	10.19	259
140	3556	60.52	1537	60.52	1537	68.60	1742	10.98	279
150	3810	64.85	1647	64.85	1647	73.50	1867	11.76	299
200	5080	86.46	2196	86.46	2196	98.10	2492	15.70	399
250	6350	108.08	2745	108.08	2745	122.60	3114	19.62	498
300	7633	129.92	3300	129.92	3300	147.30	3741	23.57	599

注意事項：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

• 4:3 スクリーン上の 16:9 画像



注意事項：

- (e) = スクリーン
- (f) = レンズを中心

4:3 スクリーン上の 16:9 画像

(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直 オフセット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
40	1016	15.87	403	15.87	403	18.00	457	2.88	73
50	1270	19.84	504	19.84	504	22.50	572	3.60	91
60	1524	23.81	605	23.81	605	27.00	686	4.32	110
70	1778	27.78	706	27.78	706	31.50	800	5.04	128
80	2032	31.74	806	31.74	806	36.00	914	5.76	146
90	2286	35.71	907	35.71	907	40.50	1029	6.48	165

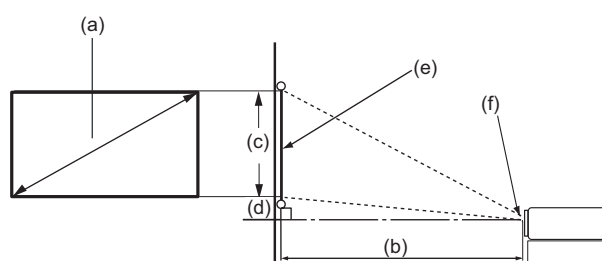
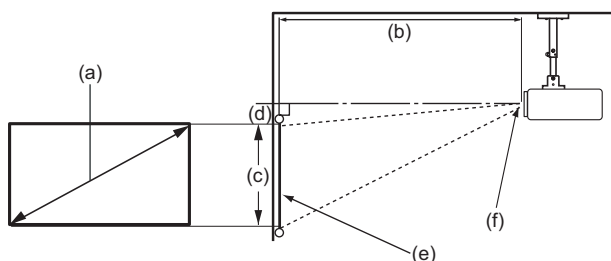
(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直 オフセット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
100	2540	39.68	1008	39.68	1008	45.00	1143	7.20	183
110	2794	43.65	1109	43.65	1109	49.50	1257	7.92	201
120	3048	47.62	1209	47.62	1209	54.00	1372	8.64	219
130	3302	51.58	1310	51.58	1310	58.50	1486	9.36	238
140	3556	55.55	1411	55.55	1411	63.00	1600	10.08	256
150	3810	59.52	1512	59.52	1512	67.50	1715	10.80	274
200	5080	79.36	2016	79.36	2016	90.00	2286	14.40	366
250	6350	99.20	2520	99.20	2520	112.50	2858	18.00	457
300	7633	119.25	3029	119.25	3029	135.24	3435	21.64	550

注意事項：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

投影寸法 - LS751HD

- 16:9 スクリーン上の 16:9 画像



注意事項：

- (e) = スクリーン
- (f) = レンズを中心

16:9 スクリーン上の 16:9 画像

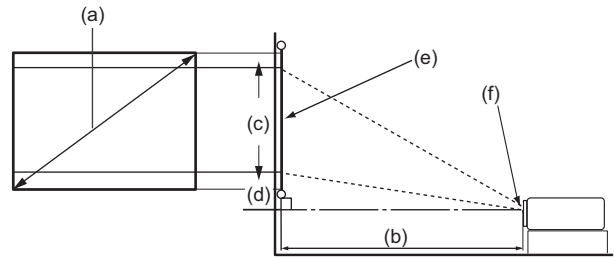
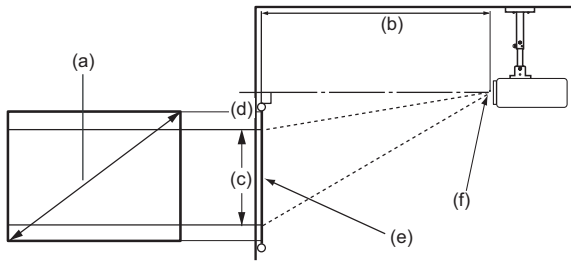
(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の 高さ		(d) 垂直オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
30	763	36.67	931	58.67	1490	14.73	374	0	0	2.65	67
40	1016	48.81	1240	78.09	1984	19.61	498	0	0	3.53	90
50	1270	61.01	1550	97.62	2479	24.51	623	0	0	4.41	112
60	1524	73.21	1860	117.14	2975	29.42	747	0	0	5.29	134
70	1778	85.41	2170	136.66	3471	34.32	872	0	0	6.18	157
80	2032	97.62	2479	156.19	3967	39.22	996	0	0	7.06	179
90	2286	109.82	2789	175.71	4463	44.12	1121	0	0	7.94	202
100	2540	122.02	3099	195.23	4959	49.03	1245	0	0	8.82	224

(a) スクリーンサイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
110	2794	134.22	3409	214.76	5455	53.93	1370	0	0	9.71	247
120	3048	146.42	3719	234.28	5951	58.83	1494	0	0	10.59	269
130	3302	158.63	4029	253.80	6447	63.73	1619	0	0	11.47	291
140	3556	170.83	4339	273.33	6942	68.64	1743	0	0	12.35	314
150	3810	183.03	4649	292.85	7438	73.54	1868	0	0	13.24	336
200	5080	244.04	6199	390.47	9918	98.05	2491	0	0	17.65	448
250	6350	305.05	7748	488.08	12397	122.57	3113	0	0	22.06	560
300	7622	366.15	9300	585.84	14880	147.11	3737	0	0	26.48	673

注意事項：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

• 4:3 スクリーン上の 16:9 画像



注意事項：

- (e) = スクリーン
- (f) = レンズを中心

4:3 スクリーン上の 16:9 画像

(a) スクリーンサイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
30	763	34.16	868	54.66	1388	13.52	343	0	0	2.43	62
40	1016	44.80	1138	71.68	1821	18.00	457	0	0	3.24	82
50	1270	56.00	1422	89.60	2276	22.50	572	0	0	4.05	103
60	1524	67.20	1707	107.52	2731	27.00	686	0	0	4.86	123
70	1778	78.40	1991	125.44	3186	31.50	800	0	0	5.67	144
80	2032	89.60	2276	143.36	3641	36.00	914	0	0	6.48	165
90	2286	100.80	2560	161.28	4097	40.50	1029	0	0	7.29	185
100	2540	112.00	2845	179.20	4552	45.00	1143	0	0	8.10	206

(a) スクリーンサイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
110	2794	123.20	3129	197.12	5007	49.50	1257	0	0	8.91	226
120	3048	134.40	3414	215.04	5462	54.00	1372	0	0	9.72	247
130	3302	145.60	3698	232.96	5917	58.50	1486	0	0	10.53	267
140	3556	156.80	3983	250.88	6372	63.00	1600	0	0	11.34	288
150	3810	168.00	4267	268.80	6828	67.50	1715	0	0	12.15	309
200	5080	224.00	5690	358.40	9103	90.00	2286	0	0	16.20	411
250	6350	280.00	7112	448.00	11379	112.50	2858	0	0	20.25	514
300	7622	336.08	8536	537.60	13655	135.03	3430	0	0	24.31	617

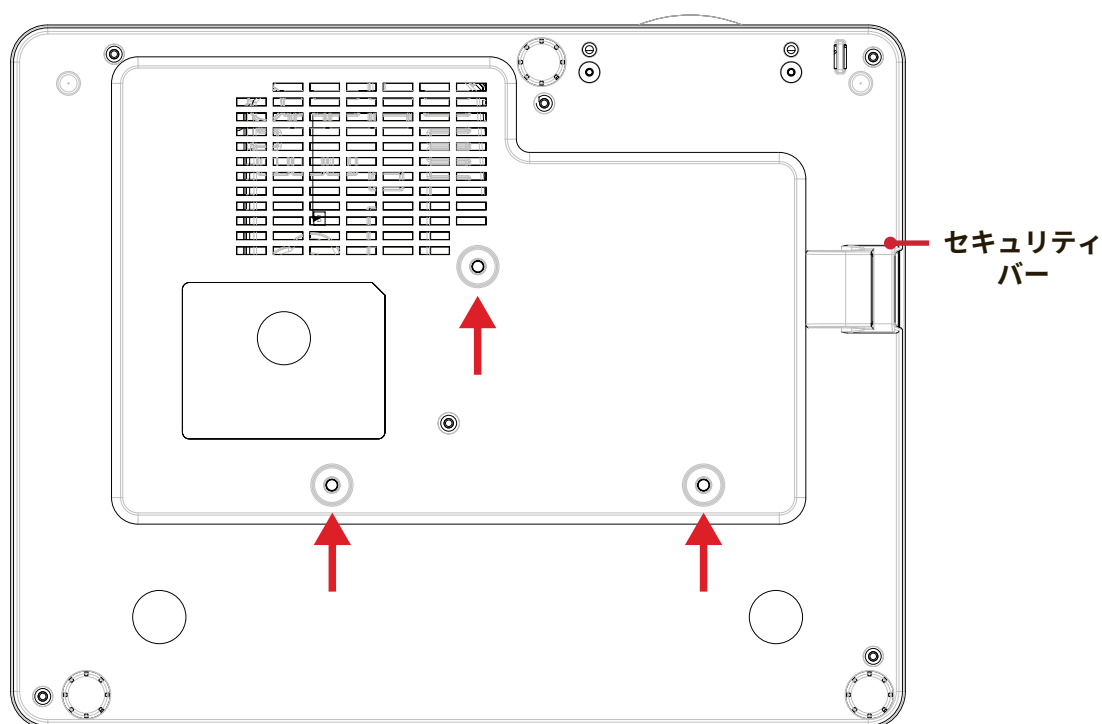
注意事項：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

プロジェクターの取り付け

注意事項： サードパーティ製のマウントを購入する場合は、正しいネジサイズを使用してください。取り付けプレートの厚さによってネジサイズは異なります。

1. 最も安全な設置を確実にするために、ViewSonic® の壁または天井マウントを使用してください。
2. マウントをプロジェクターに取り付けるために使用するネジが、次の仕様を満たしていることを確認してください。
 - ネジタイプ： M4 x 10
 - 最大ネジ長さ： 10mm



注意：

- プロジェクターを熱源または空調設備の近くに設置しないでください。
- 天井とプロジェクターの底面の間になくとも 10 cm (3.9 インチ) の隙間を空けてください。

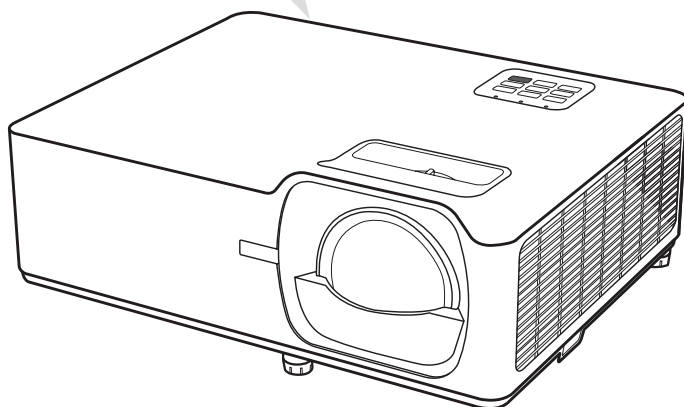
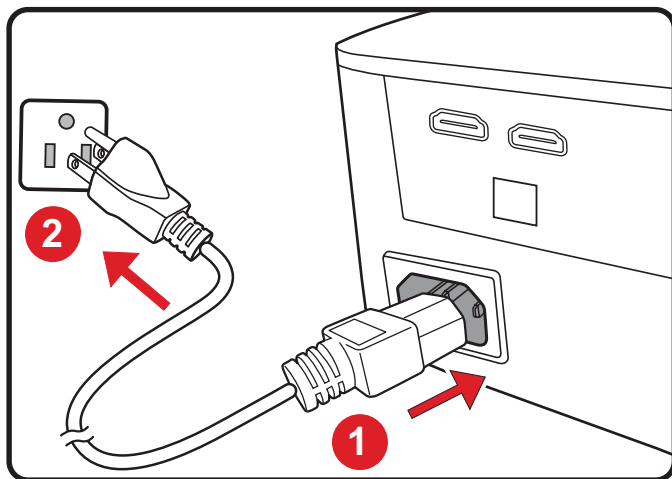
セキュリティバーの使用

プロジェクターの盗難を避けるために、セキュリティスロットロックデバイスを使用して、プロジェクターを固定物に固定します。

本体の接続

電源との接続

1. 電源コードをプロジェクター背面の AC 入力ジャックに接続します。
2. 電源コードをコンセントに差し込みます。



注意事項： プロジェクターを設置するときは、固定配線にすぐに手が届く切断機器を組み込むか、電源プラグを装置の近くにあるアクセスしやすいコンセントに接続してください。プロジェクターの操作中に障害が発生した場合は、切断機器を使用して電源を切るか、電源プラグを抜いてください。

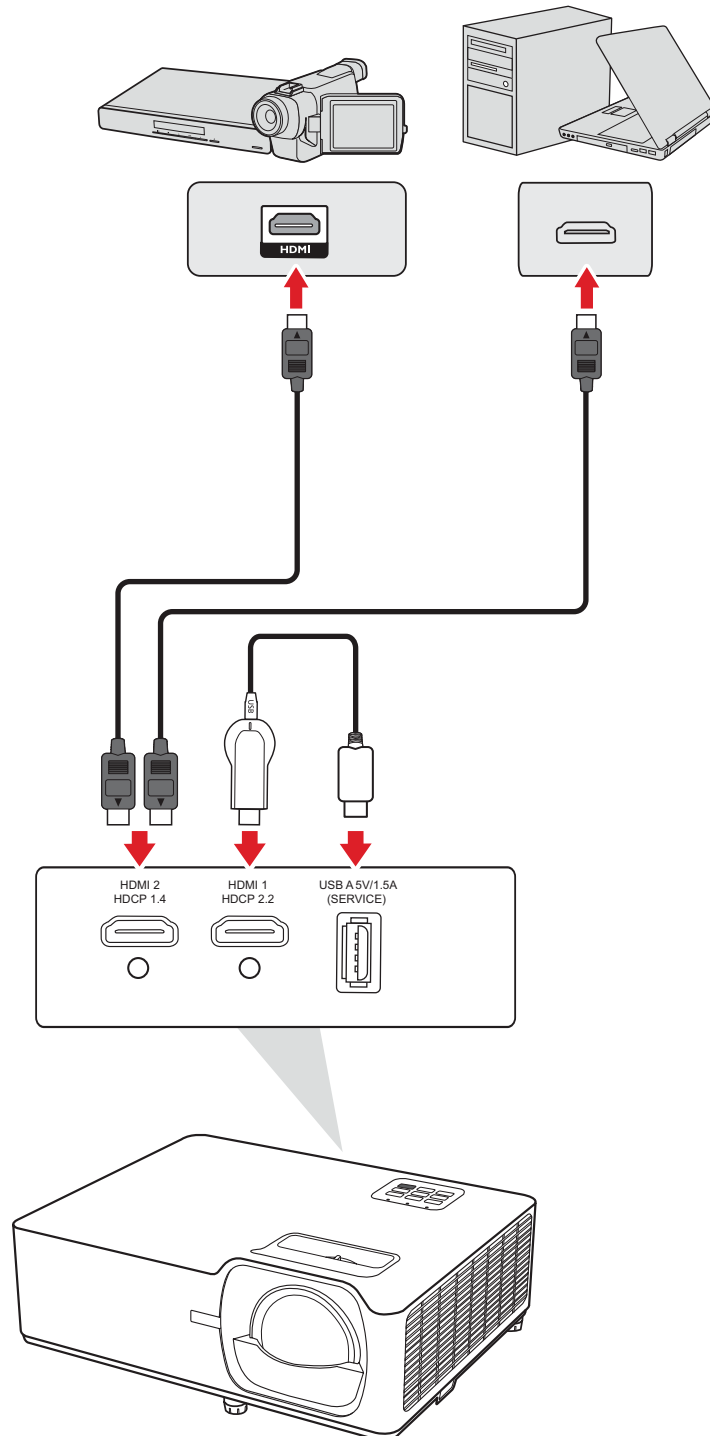
外付け機器への接続

HDMI 接続

HDMI ケーブルの片方をビデオ機器の HDMI ポートに接続し、ケーブルの他端をプロジェクターの **HDMI1/2** ポートに接続します。

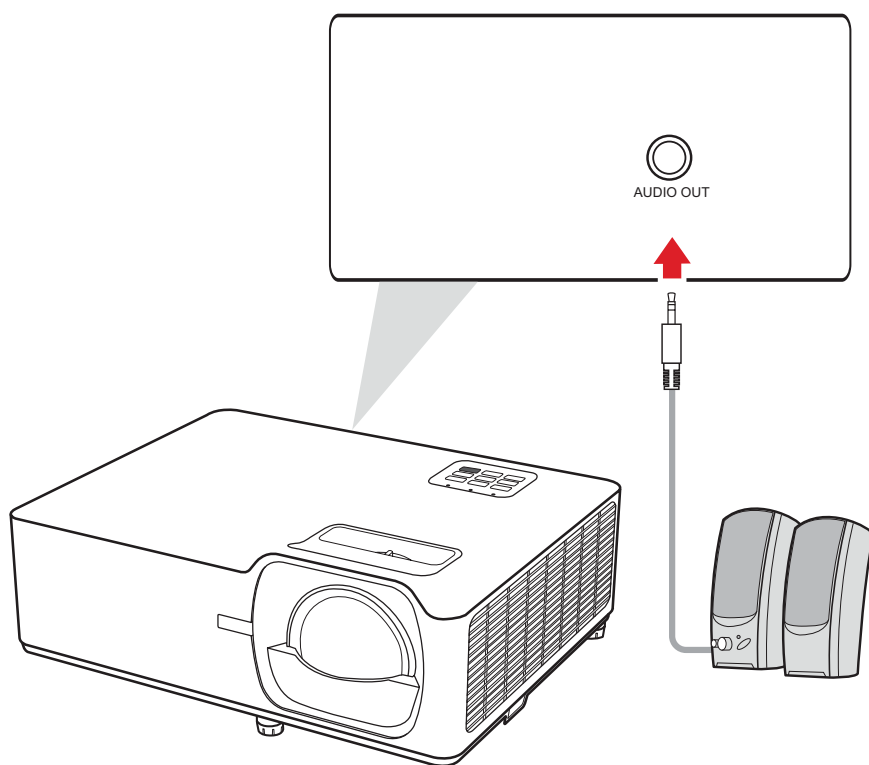
注意事項：

- iPhone/iPad ユーザーは追加アダプタを使用する必要があります。
- **HDMI 1** ポートは HDCP 2.2 をサポートします。
- **HDMI 2** ポートは HDCP 1.4 をサポートします。



オーディオ接続

音声出力ポートを介して、さまざまな外部サウンド配信デバイスに接続できます。



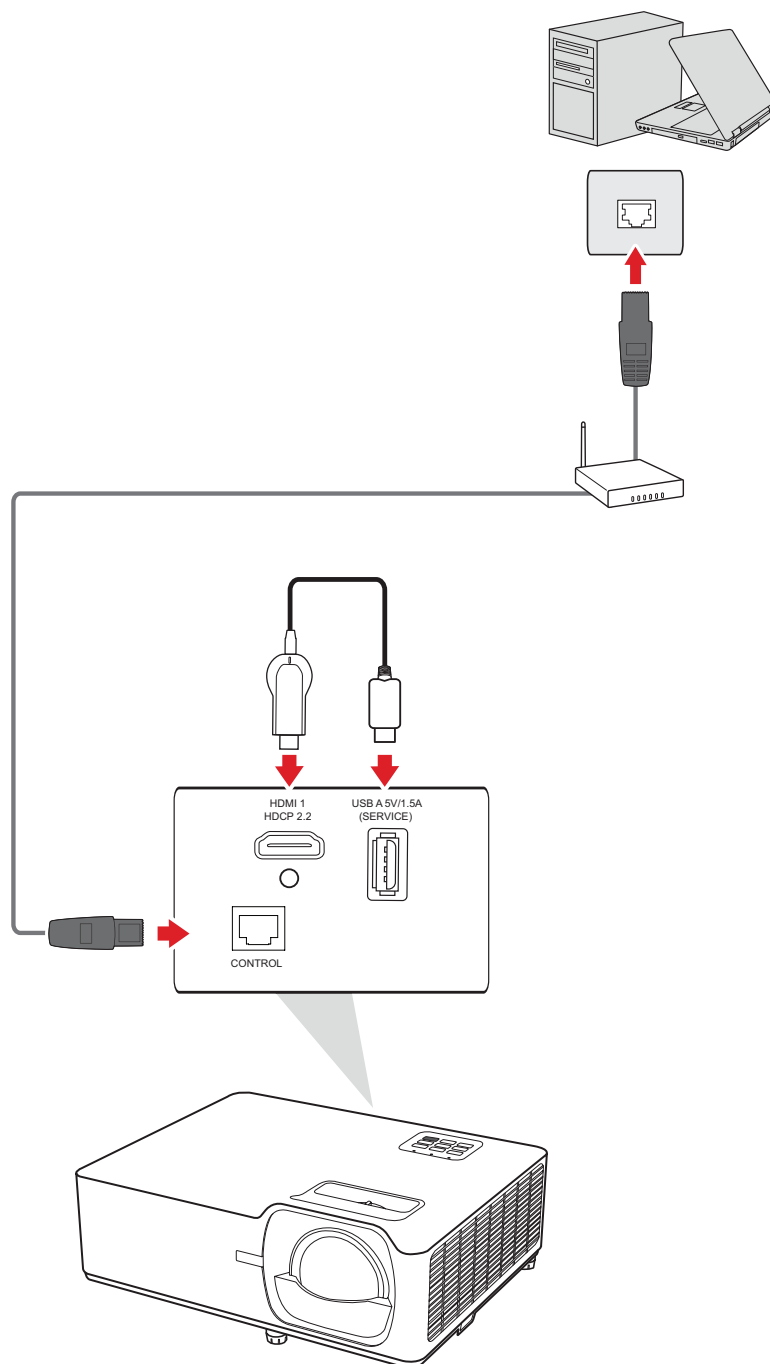
USB およびネットワーク接続

USB タイプ A 接続

USB ポートは、電源およびサービス用です。

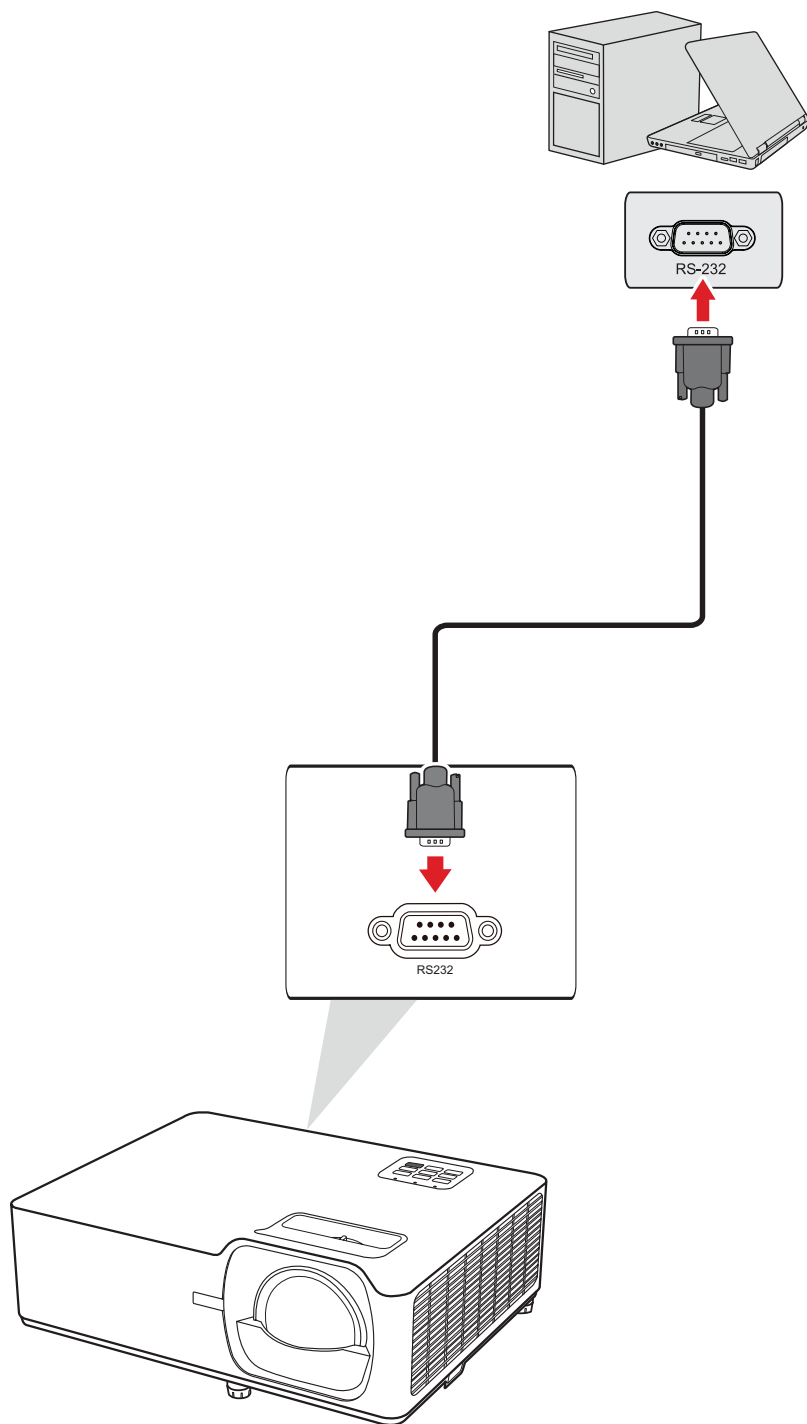
ネットワーク接続

ネットワークケーブルを LAN ポートに接続します。



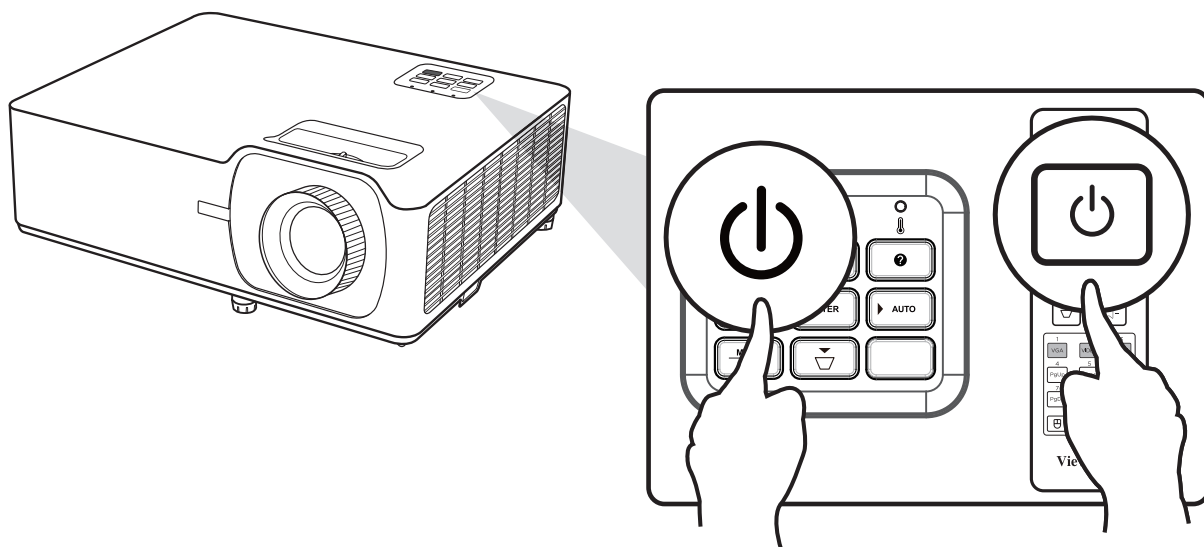
RS-232 接続

RS-232 シリアルポートケーブルを使用してプロジェクターを外部コンピュータに接続すると、電源のオン / オフ、音量調整、入力選択、輝度など、特定の機能を PC からリモートで制御できます。



プロジェクターの使用法

プロジェクターを起動する

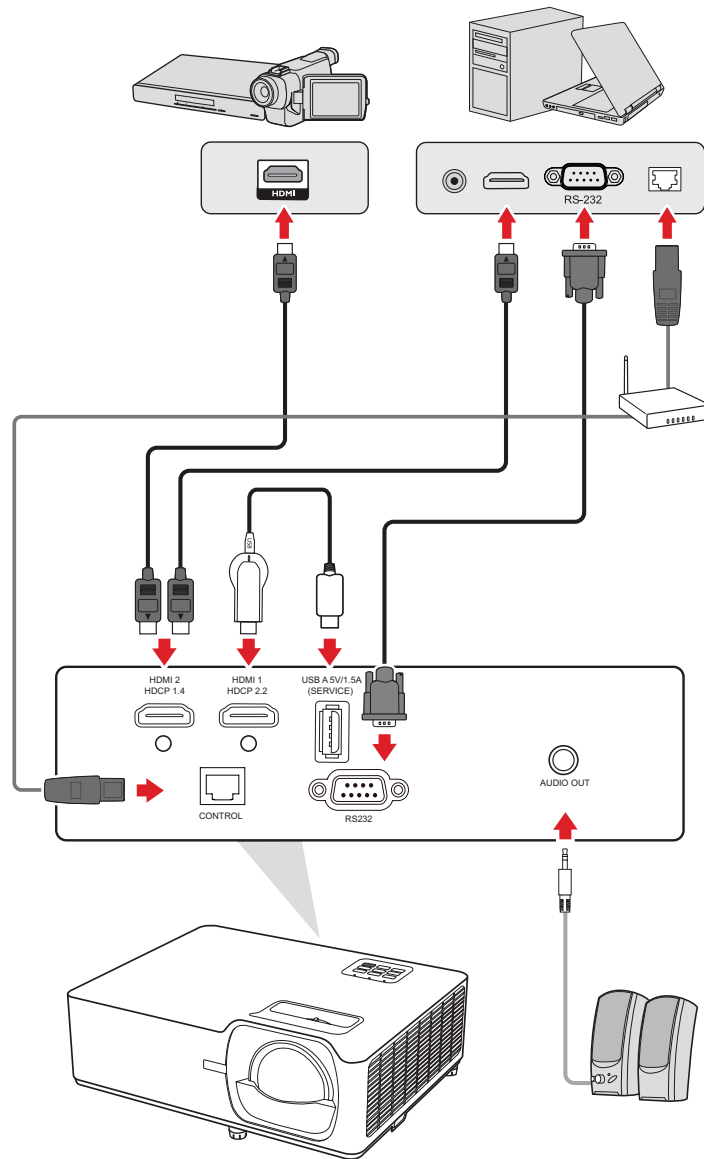


1. プロジェクターの電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。
2. プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押して、プロジェクターをオンにします。

注意事項： 起動中に電源インジケータライトが青く点滅します。

入力ソースを選択する

プロジェクターは同時に複数の機器に接続することができます。ただし、一度に1画面しか表示できません。



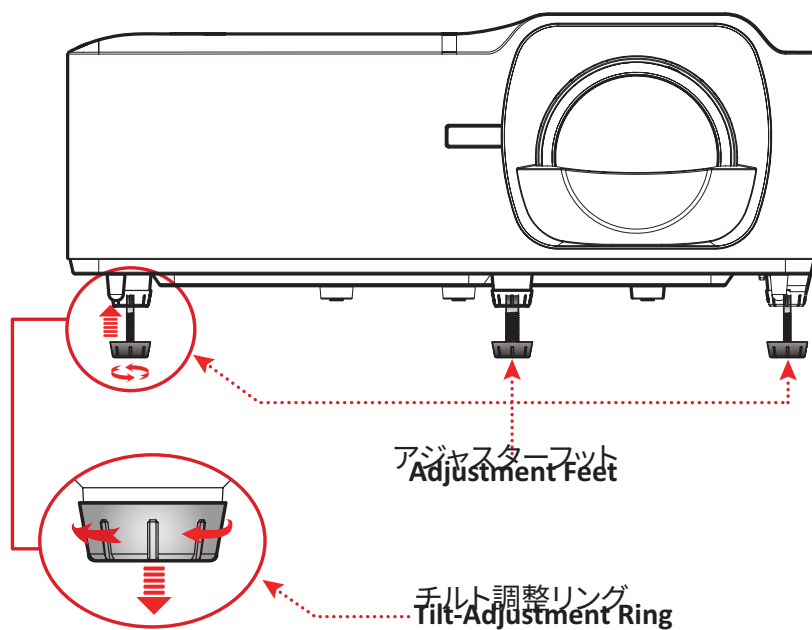
プロジェクターは、自動的に入力ソースを検索します。複数のソースが接続されている場合は、プロジェクターまたはリモコンの**ソース**ボタンを押して、目的の入力を選択します。

注意事項：接続されたソースもオンであることを確認してください。

投影画像を調整する

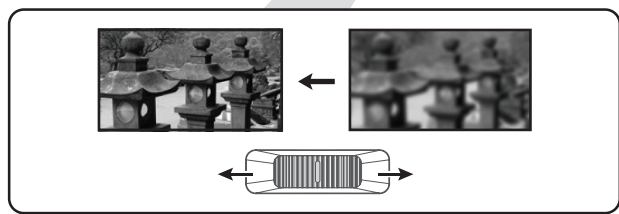
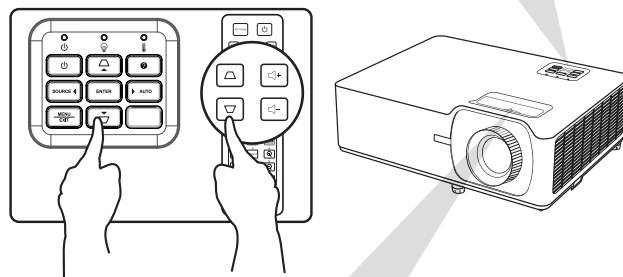
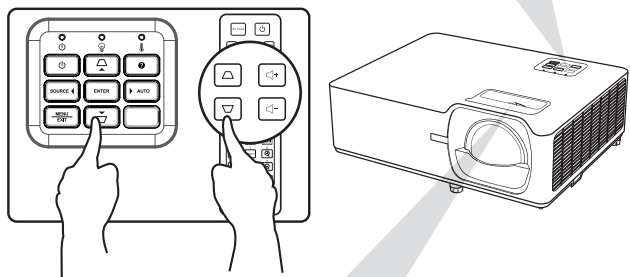
プロジェクターの高さと投影角度を調整する

プロジェクターには3つのアジャスターフットが付属します。フットを調整すると、プロジェクターの高さと垂直投影角度が変わります。

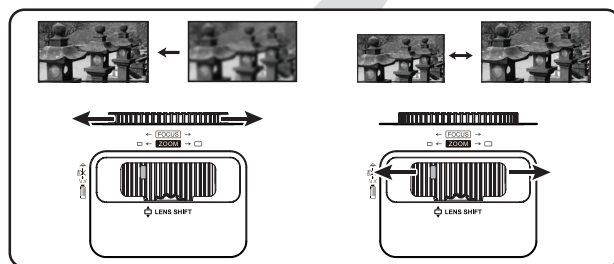


フォーカス、キーストーン、レンズシフトの調整

フォーカスリング、キーストーンキー、レンズシフト¹ダイヤル、またはズームリング¹を調整して、画像の明確さと位置を改善および調整できます。



LS710HD



LS751HD

¹ LS751HD のみ。

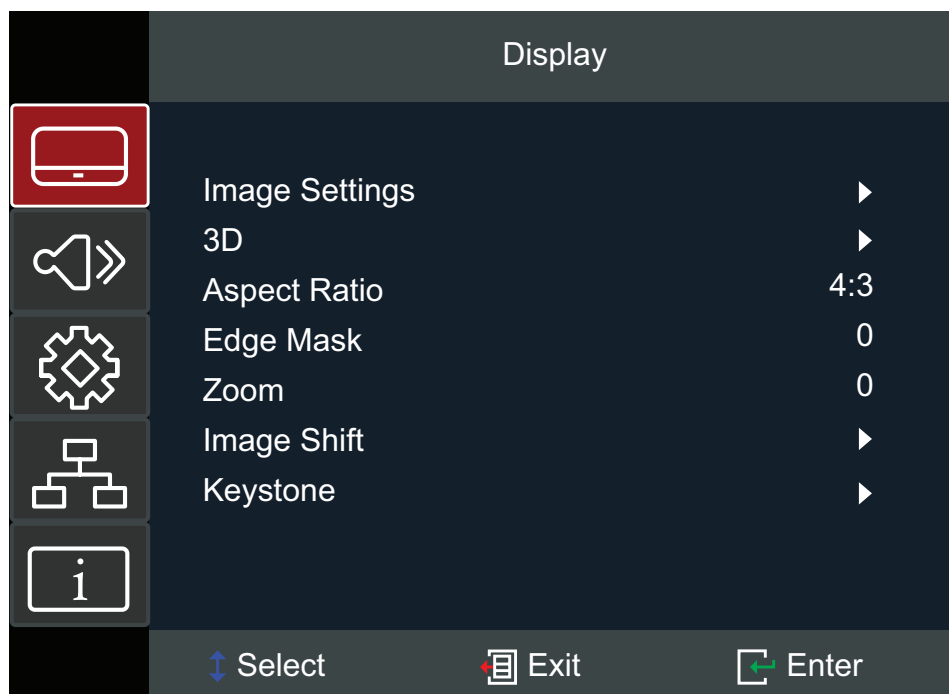
プロジェクターをシャットダウンする





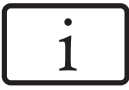
1. プロジェクターまたはリモコンの**電源**ボタンを押すと、「電源オフメッセージ」が表示されます。
2. **電源**ボタンをもう一度押して、確認し、プロジェクターをシャットダウンします。
注意事項：冷却ファンは、冷却サイクルで約 10 秒間動作し続け、電源インジケータライトは青く点滅します。
3. 電源インジケータライトが、赤く点灯し、スタンバイモードに入ります。
注意事項：プロジェクターを元に戻したい場合は、冷却サイクルが終了し、プロジェクターがスタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードの場合は、**電源**ボタンをもう一度押してプロジェクターをオンにします。

プロジェクターを操作する

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー

プロジェクターには、画像調整を行い、さまざまな設定を変更できる多言語オンスクリーンディスプレイメニューがあります。



メニュー		詳細
Display (ディスプレイ)		画像、3D、アスペクト比、エッジマスク、ズーム、画像シフト、キーストーン設定を調整します。
Audio (音声)		音量レベルを調整します。または消音します。
Setup (セットアップ)		投影、電源、セキュリティ、言語、メニュー、入力ソースなどの設定を調整します。
Network (ネットワーク)		LAN および RS-232 制御設定を調整します。
Information (情報)		プロジェクターとネットワーク情報を表示します。

メニューナビゲーション

プロジェクターには、画像と設定の調整を行うための多言語オンスクリーンディスプレイメニューがあります。

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開くには、プロジェクターまたはリモコンの**メニュー / 終了** ボタンを押します。
2. OSD が表示されたら、**ナビゲーション** ボタン (▲▼) を使用して、メインメニューの任意のアイテムを選択します。特定のページで選択を行い、プロジェクターまたはリモコンの **Enter** ボタンを押して、サブメニューに入ります。
3. **ナビゲーション** ボタン (◀▶) を使用して、サブメニューで目的のアイテムを選択し、**Enter** を押して設定を表示します。**ナビゲーション** ボタン (◀▶) を使用して設定を調整します。
4. サブメニューで調整する次のアイテムを選択し、上記と同じ方法で調整します。
5. **Enter** を押して確認すると、メインメニューに戻ります。
6. 終了するには、**メニュー / 終了** ボタンをもう一度押します。OSD メニューが閉じられ、プロジェクターが新しい設定を自動的に保存します。

メインメニュー構成

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Display (ディスプレイ)	Image Setting (画像設定)	Display Mode (ディスプレイモード)	Presentation (プレゼンテーション)	
			Bright (輝度)	
			HDR SIM	
			Cinema (シネマ)	
			Game (ゲーム)	
			sRGB	
			DICOM SIM	
			User (ユーザー)	
		3D		
		Wall Color (壁の色)	Off (オフ)	
			Blackboard (ブラックボード)	
			Light Yellow (明るい黄色)	
			Light Green (明るい緑色)	
			Light Blue (明るい青色)	
			Pink (ピンク)	
			Gray (灰色)	
		Brightness (輝度)	(-/+, -50 ~ 50)	
		Contrast (コントラスト)	(-/+, -50 ~ 50)	
		Sharpness (シャープネス)	(-/+, 1 ~ 15)	
		Color (色)	(-/+, -50 ~ 50)	
		Tint (色合い)	(-/+, -50 ~ 50)	
		Gamma (ガンマ調整)	Film (フィルム)	
			Video (ビデオ)	
Graphics (グラフィックス)				
Standard (2.2) (標準 (2.2))				
1.8				
2.0				
2.4				
2.6				

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション									
Display (ディスプレイ)	Image Setting (画像設定)	Color Settings (カラー設定)	Brilliant Color™	(-/+、1 ~ 10)							
			Color Temperature (色温度)	Warm (暖色)							
				Standard (標準)							
				Cool (冷色)							
				Cold (寒色)							
			Color Matching (カラーマッチング)	Color (色)	Red (赤)	Green (緑)	Blue (青)	Cyan (藍色)	Yellow (黄色)	Magenta (深紅色)	White (白色)
					Hue/R (色相 /R)	(-/+、-50 ~ 50)					
					Saturation/G (彩度 /G)	(-/+、-50 ~ 50)					
					Gain/B (ゲイン /B)	(-/+、-50 ~ 50)					
					Reset (リセット)						
					Exit (終了)						
					RGB Gain/Bias (RGB ゲイン / バイアス)	Red Gain (赤ゲイン)	(-/+、-50 ~ 50)				
				Green Gain (緑ゲイン)		(-/+、-50 ~ 50)					
				Blue Gain (青ゲイン)		(-/+、-50 ~ 50)					
				Red Bias (赤バイアス)		(-/+、-50 ~ 50)					
			Green Bias (緑バイアス)	(-/+、-50 ~ 50)							
			Blue Bias (青バイアス)	(-/+、-50 ~ 50)							
			Reset (リセット)								
			Exit (終了)								

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
Display (ディスプレイ)	Image Setting (画像設定)	Color Settings (カラー設定)	Color Space (色空間)	Auto (自動)	
				RGB (0~255)	
				RGB (16~235)	
				YUV	
		Brightness Mode (輝度モード)	Dynamic Black (ダイナミックブラック)	Eco (エコ)	
				Power 100%~50% (電源 100% ~ 50%)	
				Reset (リセット)	
		3D	3D Mode (3D モード)	Off (オフ)	
				DLP-Link	
			3D - 2D	3D	
	L				
	R				
	3D Format (3D 形式)		Auto (自動)		
			SBS		
			Top and Bottom (トップアンドボトム)		
	3D Sync Invert (3D 同期反転)		Off (オフ)		
			On (オン)		
	Aspect Ratio (アスペクト比)	4:3			
		16:9			
		LBX			
		Native (ネイティブ)			
		Auto (自動)			
	Edge Mask (エッジマスク)	(-/+、0 ~ 10)			
	ズーム	(-/+、-5 ~ 25)			
	Image Shift (画像シフト)	Horizontal (H.) (水平)	(-/+、-100 ~ 100)		
		Vertical (V.) (垂直)	(-/+、-100 ~ 100)		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
Display (ディスプレイ)	Keystone (キーストーン)	Four Corners (4 コーナー)	Top-Left (左上)		
			Top-Right (右上)		
			Bottom-Left (左下)		
			Bottom-Right (右下)		
		H. Keystone (水平キーストーン)	(-/+、-30 ~ 30)		
		V. Keystone (垂直キーストーン)	(-/+、-30 ~ 30)		
Auto Keystone (自動キーストーン)					
Reset (リセット)					
Audio (音声)	Mute (ミュート)	Off (オフ)			
		On (オン)			
	Volume (音量)	(-/+、0 ~ 10)			
Setup (セットアップ)	Projection (投影)	Front (フロント)			
		Rear (リア)			
		Ceiling-Top (天井 - トップ)			
		Rear-Top (リア - トップ)			
	Power Settings (電源設定)	Direct Power On (直接電源オン)	Off (オフ)		
			On (オン)		
		Signal Power On (信号電源オン)	Off (オフ)		
			On (オン)		
		Auto Power Off (自動電源オフ)	(-/+、0~180) minutes ((-/+、0~180) 分)		
		Power Mode (電源モード)	Eco (エコ)		
	Active (アクティブ)				
	USB Power (USB 電源)	Off (オフ)			
		On (オン)			
	Security (セキュリティ)	Security (セキュリティ)	Off (オフ)		
			On (オン)		
		Security Timer (セキュリティタイマー)	Month (月)	(-/+、0 ~ 12)	
Day (日)			(-/+、0 ~ 30)		
Hour (時間)			(-/+、0 ~ 24)		
Change Password (パスワードの変更)					

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Setup (セットアップ)	HDMI CEC	HDMI CEC	Off (オフ)	
			On (オン)	
	Test Pattern (テストパターン)	Test Pattern (テストパターン)	Off (オフ)	
			Green Grid (緑色のグリッド)	
			Magenta Grid (マゼンタ色のグリッド)	
			White Grid (白色のグリッド)	
			White (白色)	
	オプション	Language (言語)	English	
			Deutsch	
			Français	
			Italiano	
			Español	
			Português	
			Polski	
			Nederlands	
			Svenska	
			Norsk/Dansk	
			Suomi	
			ελληνικά	
			繁體中文	
			簡体中文	
			日本語	
			한국어	
			Русский	
			Magyar	
			Čeština	
			عربى	
ไทย				
Türkçe				
ىسراف				
Tiếng Việt				
Bahasa Indonesia				
Română				
Slovenčina				

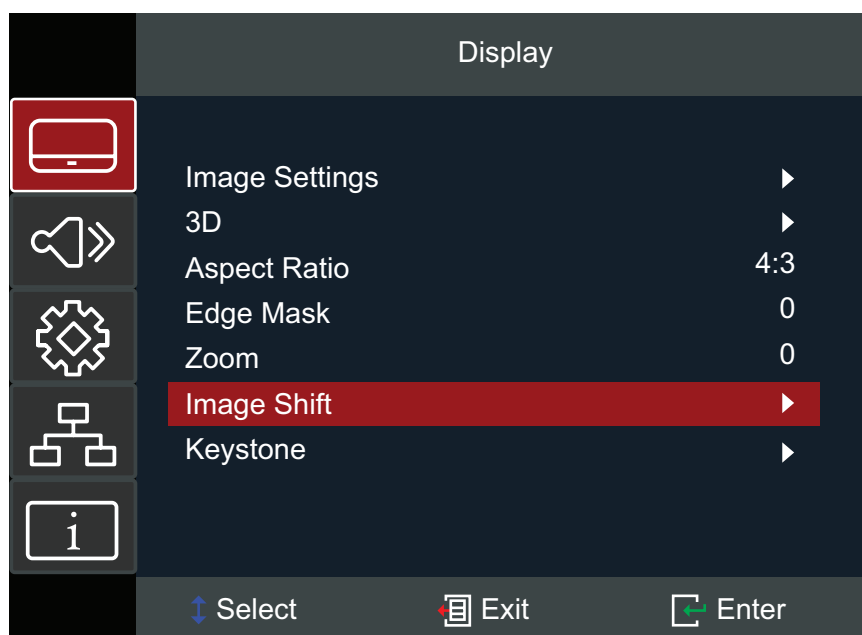
メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
Setup (セットアップ)	Options (オプション)	Menu Settings (メニュー設定)	Menu Location (メニュー位置)	Top-Left (左上)	
				Top-Right (右上)	
				Center (中央)	
				Bottom-Left (左下)	
				Bottom-Right (右下)	
			Off (オフ)		
		Menu Timer (メニュータイマー)	5 seconds (5 秒)		
			10 seconds (10 秒)		
		Auto Source (自動ソース)	Off (オフ)		
			On (オン)		
		Input Source (入力ソース)	HDMI 1		
			HDMI 2		
		High Altitude (高地)	Off (オフ)		
	On (オン)				
	Logo (ロゴ)	Default (デフォルト)			
		Neutral (ニュートラル)			
	Background Color (背景色)	Black (黒)			
		Blue (青)			
		Red (赤)			
		Green (緑)			
		Gray (灰色)			
Logo (ロゴ)					
Reset (リセット)	Reset to Default (工場出荷時デフォルトにリセット)				

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Network (ネットワーク)	LAN	Network Status (ネットワークステータス)		
		MAC Address (MAC アドレス)		
		DHCP	Off (オフ)	
			On (オン)	
		IP Address (IP アドレス)	xxx.xxx.xxx	
		Subnet Mask (サブネットマスク)	xxx.xxx.xxx	
		Gateway (ゲートウェイ)	xxx.xxx.xxx	
		DNS	xxx.xxx.xxx	
	Reset (リセット)			
	Control (制御)	Crestron	Off (オフ)	
			On (オン)	
		Extron	Off (オフ)	
			On (オン)	
		PJ Link	Off (オフ)	
			On (オン)	
		AMX Device Discovery (AMX デバイス検出)	Off (オフ)	
On (オン)				
Telnet		Off (オフ)		
		On (オン)		
HTTP	Off (オフ)			
	On (オン)			

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Information (情報)	Serial Number (シリアル番号)		
	Source (ソース)		
	Resolution (解像度)		
	Refresh Rate (リフレッシュレート)		
	Display Mode (ディスプレイモード)		
	Power Mode (電源モード)		
	Light Source Hours (光源時間)		
	Network Status (ネットワークステータス)		
	IP Address (IP アドレス)		
	Brightness Mode (輝度モード)		
		Firmware Version (ファームウェアバージョン)	System (システム)
LAN			
MCU			

メニュー操作

ディスプレイメニュー



メニュー	詳細																				
Image Setting (画像設定)	<p><u>Display Mode (ディスプレイモード)</u> 視聴の好みに合わせて選択できるいくつかの事前定義されたディスプレイモードがあります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>モード</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Presentation (プレゼンテーション)</td> <td>ビジネス環境および教育環境のほとんどのニーズに適しています。</td> </tr> <tr> <td>Bright (輝度)</td> <td>明るく十分な照明のある環境に適しています。</td> </tr> <tr> <td>HDR SIM</td> <td>Rec.2020 色域を使用して、最も深い黒、最も明るい白、そして鮮やかな映画の色のための高ダイナミックレンジ (HDR) コンテンツをデコードして表示します。このモードは、シミュレートされた高ダイナミックレンジ (HDR) で非 HDR コンテンツを強化するために選択できます。</td> </tr> <tr> <td>Cinema (シネマ)</td> <td>映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。</td> </tr> <tr> <td>Game (ゲーム)</td> <td>プロジェクターを最適化して最大のコントラストと鮮やかな色を提供し、ゲームをプレイするときに影のディテールを見ることができます。</td> </tr> <tr> <td>sRGB</td> <td>標準化された sRGB 色域。</td> </tr> <tr> <td>DICOM SIM</td> <td>モノクロ画像の投影に適しています。</td> </tr> <tr> <td>User (ユーザー)</td> <td>ユーザーのカスタム設定。</td> </tr> <tr> <td>3D</td> <td>3D コンテンツ用に最適化されています。 注意事項: 3D メガネが必要です。</td> </tr> </tbody> </table>	モード	説明	Presentation (プレゼンテーション)	ビジネス環境および教育環境のほとんどのニーズに適しています。	Bright (輝度)	明るく十分な照明のある環境に適しています。	HDR SIM	Rec.2020 色域を使用して、最も深い黒、最も明るい白、そして鮮やかな映画の色のための高ダイナミックレンジ (HDR) コンテンツをデコードして表示します。このモードは、シミュレートされた高ダイナミックレンジ (HDR) で非 HDR コンテンツを強化するために選択できます。	Cinema (シネマ)	映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。	Game (ゲーム)	プロジェクターを最適化して最大のコントラストと鮮やかな色を提供し、ゲームをプレイするときに影のディテールを見ることができます。	sRGB	標準化された sRGB 色域。	DICOM SIM	モノクロ画像の投影に適しています。	User (ユーザー)	ユーザーのカスタム設定。	3D	3D コンテンツ用に最適化されています。 注意事項: 3D メガネが必要です。
	モード	説明																			
	Presentation (プレゼンテーション)	ビジネス環境および教育環境のほとんどのニーズに適しています。																			
	Bright (輝度)	明るく十分な照明のある環境に適しています。																			
	HDR SIM	Rec.2020 色域を使用して、最も深い黒、最も明るい白、そして鮮やかな映画の色のための高ダイナミックレンジ (HDR) コンテンツをデコードして表示します。このモードは、シミュレートされた高ダイナミックレンジ (HDR) で非 HDR コンテンツを強化するために選択できます。																			
	Cinema (シネマ)	映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。																			
	Game (ゲーム)	プロジェクターを最適化して最大のコントラストと鮮やかな色を提供し、ゲームをプレイするときに影のディテールを見ることができます。																			
	sRGB	標準化された sRGB 色域。																			
	DICOM SIM	モノクロ画像の投影に適しています。																			
	User (ユーザー)	ユーザーのカスタム設定。																			
3D	3D コンテンツ用に最適化されています。 注意事項: 3D メガネが必要です。																				

メニュー	詳細
Image Setting (画像設定)	<p><u>Wall Color (壁の色)</u> スクリーンなしで壁に投影するときに、投影された画像の色を調整するように設計されています。 注意事項: より正確な色の再現には、スクリーンの使用が推奨されます。</p> <p><u>Brightness (輝度)</u> 値が大きいほど、画像は明るくなります。値を小さくすると、画像が暗くなります。</p> <p><u>Contrast (コントラスト)</u> 選択した入力と視聴環境に合うように、Brightness (輝度) 設定を以前に調整した後で、これを使用してピークホワイトレベルを設定します。</p> <p><u>Sharpness (シャープネス)</u> 値が大きいほど鮮明な画像になります。低い値では画像が柔らかくなります。</p> <p><u>Color (色)</u> 白黒から完全に飽和した色に画像を調整します。</p> <p><u>Tint (色合い)</u> 値が高いほど、画像は緑色が強くなります。値が低いほど、画像は赤色が強くなります。</p> <p><u>Gamma (ガンマ調整)</u> 入力ソースと画像輝度の関係を反映しています。</p>

メニュー	詳細												
Image Setting (画像設定)	<p>Color Settings (カラー設定)</p> <table border="1" data-bbox="555 232 1450 1240"> <thead> <tr> <th data-bbox="555 232 828 286">設定</th> <th data-bbox="828 232 1450 286">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="555 286 828 416">Brilliant Color™</td> <td data-bbox="828 286 1450 416">画像絵の中で真の、より鮮やかな色を提供しながら、より高い明るさを可能にする色処理アルゴリズムと強化。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 416 828 506">Color Temperature (色温度)</td> <td data-bbox="828 416 1450 506">暖色、標準、冷色、または寒色から選択します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 506 828 1016">Color Matching (カラーマッチング)</td> <td data-bbox="828 506 1450 1016">会議室、講堂、ホームシアターなど、照明レベルが制御された恒久的な設備でのみ、カラーマッチングを検討する必要があります。カラーマッチングは、必要に応じて、より正確な色再現を可能にするために、詳細な色制御調整を提供します。 さまざまなカラーテストパターンを含み、モニター、テレビ、プロジェクターなどでカラープレゼンテーションをテストするために使用できるテストディスクを購入した場合は、ディスクから任意の画像をスクリーンに投影して、Color Matching (カラーマッチング) メニューに入り、調整することができます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 1016 828 1146">RGB Gain/Bias (RGB ゲイン/バイアス)</td> <td data-bbox="828 1016 1450 1146">輝度(ゲイン)とコントラスト(バイアス)を構成します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 1146 828 1240">Color Space (色空間)</td> <td data-bbox="828 1146 1450 1240">Auto (自動)、RGB (0 ~ 255)、RGB (16 ~ 235)、Yuv 色空間から選択します。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	Brilliant Color™	画像絵の中で真の、より鮮やかな色を提供しながら、より高い明るさを可能にする色処理アルゴリズムと強化。	Color Temperature (色温度)	暖色、標準、冷色、または寒色から選択します。	Color Matching (カラーマッチング)	会議室、講堂、ホームシアターなど、照明レベルが制御された恒久的な設備でのみ、カラーマッチングを検討する必要があります。カラーマッチングは、必要に応じて、より正確な色再現を可能にするために、詳細な色制御調整を提供します。 さまざまなカラーテストパターンを含み、モニター、テレビ、プロジェクターなどでカラープレゼンテーションをテストするために使用できるテストディスクを購入した場合は、ディスクから任意の画像をスクリーンに投影して、Color Matching (カラーマッチング) メニューに入り、調整することができます。	RGB Gain/Bias (RGB ゲイン/バイアス)	輝度(ゲイン)とコントラスト(バイアス)を構成します。	Color Space (色空間)	Auto (自動)、RGB (0 ~ 255)、RGB (16 ~ 235)、Yuv 色空間から選択します。
	設定	説明											
	Brilliant Color™	画像絵の中で真の、より鮮やかな色を提供しながら、より高い明るさを可能にする色処理アルゴリズムと強化。											
	Color Temperature (色温度)	暖色、標準、冷色、または寒色から選択します。											
	Color Matching (カラーマッチング)	会議室、講堂、ホームシアターなど、照明レベルが制御された恒久的な設備でのみ、カラーマッチングを検討する必要があります。カラーマッチングは、必要に応じて、より正確な色再現を可能にするために、詳細な色制御調整を提供します。 さまざまなカラーテストパターンを含み、モニター、テレビ、プロジェクターなどでカラープレゼンテーションをテストするために使用できるテストディスクを購入した場合は、ディスクから任意の画像をスクリーンに投影して、Color Matching (カラーマッチング) メニューに入り、調整することができます。											
	RGB Gain/Bias (RGB ゲイン/バイアス)	輝度(ゲイン)とコントラスト(バイアス)を構成します。											
	Color Space (色空間)	Auto (自動)、RGB (0 ~ 255)、RGB (16 ~ 235)、Yuv 色空間から選択します。											
	<p>Brightness Mode (輝度モード)</p> <table border="1" data-bbox="555 1312 1450 1594"> <thead> <tr> <th data-bbox="555 1312 828 1366">モード</th> <th data-bbox="828 1312 1450 1366">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="555 1366 828 1451">Dynamic Black (ダイナミックブラック)</td> <td data-bbox="828 1366 1450 1451">最適なコントラストパフォーマンスを提供するために、画像の明るさを自動的に調整します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 1451 828 1505">Eco (エコ)</td> <td data-bbox="828 1451 1450 1505">光出力を暗くし、消費電力を低下させます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 1505 828 1594">Power (電源)</td> <td data-bbox="828 1505 1450 1594">輝度モードでは、電力率(50% ~ 100%)を選択します。</td> </tr> </tbody> </table>	モード	詳細	Dynamic Black (ダイナミックブラック)	最適なコントラストパフォーマンスを提供するために、画像の明るさを自動的に調整します。	Eco (エコ)	光出力を暗くし、消費電力を低下させます。	Power (電源)	輝度モードでは、電力率(50% ~ 100%)を選択します。				
	モード	詳細											
	Dynamic Black (ダイナミックブラック)	最適なコントラストパフォーマンスを提供するために、画像の明るさを自動的に調整します。											
Eco (エコ)	光出力を暗くし、消費電力を低下させます。												
Power (電源)	輝度モードでは、電力率(50% ~ 100%)を選択します。												

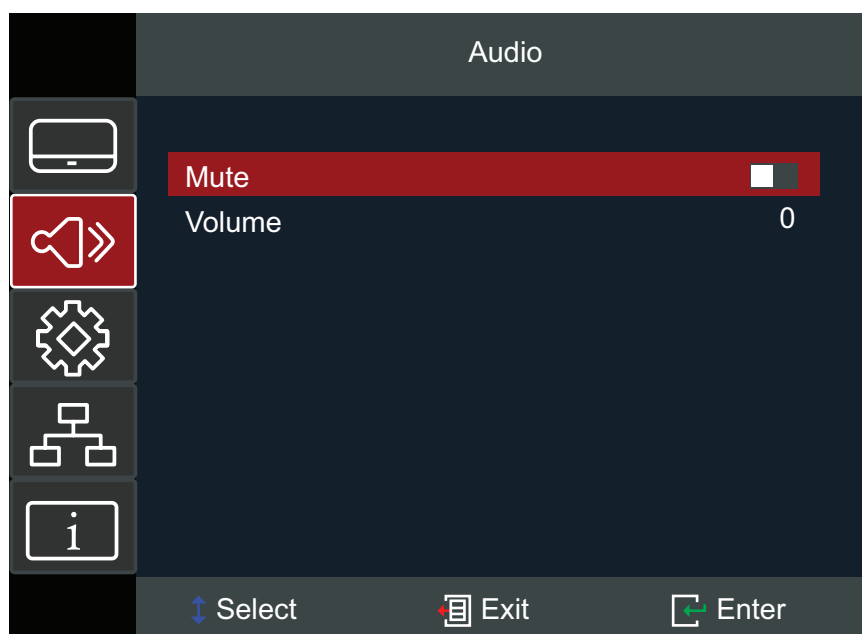
メニュー	詳細																		
Image Setting (画像設定)	<u>Reset (リセット)</u> 現在のディスプレイモードの設定 (輝度、コントラスト、シャープネス、色、色合い、ガンマ、Brilliant Color、色温度、カラーマッチング、RGB ゲイン / バイアス、色空間、輝度モード) をデフォルト値に戻します。																		
3D	<u>3D Mode (3D モード)</u> 3D 機能を有効または無効にします。 <u>3D-2D</u> 3D コンテンツを画面に表示する方法を選択します。 <table border="1" data-bbox="555 607 1453 808"> <thead> <tr> <th>オプション</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3D</td> <td>3D 信号を表示します。</td> </tr> <tr> <td>L (Left) (L(左))</td> <td>3D コンテンツの左フレームを表示します。</td> </tr> <tr> <td>R (Right) (R(右))</td> <td>3D コンテンツの右フレームを表示します。</td> </tr> </tbody> </table> <u>3D Format (3D 形式)</u> 3D コンテンツ形式を選択します。 注意事項: Blu-ray 3D ソースは自動的に検出され、オプションは選択できません。 <table border="1" data-bbox="560 1025 1458 1451"> <thead> <tr> <th>オプション</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Auto (自動)</td> <td>3D 識別信号が検出されると、3D 形式が自動的に選択されます。</td> </tr> <tr> <td>SBS</td> <td>サイドバイサイド形式で表示します。</td> </tr> <tr> <td>Top and Bottom (トップアンドボトム)</td> <td>トップアンドボトム形式で表示します。</td> </tr> <tr> <td>Frame Sequential (フレームシーケンシャル)</td> <td>フレームシーケンシャル形式で表示します。</td> </tr> </tbody> </table> <u>3D Sync Invert (3D 同期反転)</u> 3D 同期反転機能を有効または無効にします。	オプション	説明	3D	3D 信号を表示します。	L (Left) (L(左))	3D コンテンツの左フレームを表示します。	R (Right) (R(右))	3D コンテンツの右フレームを表示します。	オプション	説明	Auto (自動)	3D 識別信号が検出されると、3D 形式が自動的に選択されます。	SBS	サイドバイサイド形式で表示します。	Top and Bottom (トップアンドボトム)	トップアンドボトム形式で表示します。	Frame Sequential (フレームシーケンシャル)	フレームシーケンシャル形式で表示します。
オプション	説明																		
3D	3D 信号を表示します。																		
L (Left) (L(左))	3D コンテンツの左フレームを表示します。																		
R (Right) (R(右))	3D コンテンツの右フレームを表示します。																		
オプション	説明																		
Auto (自動)	3D 識別信号が検出されると、3D 形式が自動的に選択されます。																		
SBS	サイドバイサイド形式で表示します。																		
Top and Bottom (トップアンドボトム)	トップアンドボトム形式で表示します。																		
Frame Sequential (フレームシーケンシャル)	フレームシーケンシャル形式で表示します。																		

注意事項: このプロジェクターは、DLP-Link 3D ソリューションを備えた 3D 対応プロジェクターです。3D メガネが DLP-Link 3D 用であることを確認してください。このプロジェクターは、HDMI 1/HDMI 2 ポートを介してフレームシーケンシャル (Page-Flip) 3D をサポートします。最高性能を達成するには、1920 x 1080 の解像度をお勧めします。4K (3840 x 2160) の解像度は 3D モードではサポートされていないことに注意してください。

メニュー	詳細												
<p style="text-align: center;">Aspect Ratio (アスペクト比)</p>	<p>投影画像のアスペクト比を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="555 241 1449 1137"> <thead> <tr> <th data-bbox="555 241 826 293">アスペクト比</th> <th data-bbox="826 241 1449 293">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="555 293 826 517" style="text-align: center;">4:3</td> <td data-bbox="826 293 1449 517">4:3 のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および 4:3 アスペクト比の DVD ムービーのような 4:3 画像に最適です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 517 826 674" style="text-align: center;">16:9</td> <td data-bbox="826 517 1449 674">16:9 のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに 16:9 のアスペクト比の画像に最適です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 674 826 831" style="text-align: center;">Native (ネイティブ)</td> <td data-bbox="826 674 1449 831">画像を元の解像度で投影し、表示領域内に収まるようにサイズ変更します。より低い解像度の入力信号の場合、投影された画像は元のサイズで表示されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 831 826 954" style="text-align: center;">LBX</td> <td data-bbox="826 831 1449 954">非 16:9 レターボックスソースの場合、外部 16:9 レンズを使用して 2.35:1 のアスペクト比をフル解像度で表示する場合。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 954 826 1137" style="text-align: center;">Auto (自動)</td> <td data-bbox="826 954 1449 1137">プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3 でも 16:9 でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。</td> </tr> </tbody> </table>	アスペクト比	説明	4:3	4:3 のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および 4:3 アスペクト比の DVD ムービーのような 4:3 画像に最適です。	16:9	16:9 のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに 16:9 のアスペクト比の画像に最適です。	Native (ネイティブ)	画像を元の解像度で投影し、表示領域内に収まるようにサイズ変更します。より低い解像度の入力信号の場合、投影された画像は元のサイズで表示されます。	LBX	非 16:9 レターボックスソースの場合、外部 16:9 レンズを使用して 2.35:1 のアスペクト比をフル解像度で表示する場合。	Auto (自動)	プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3 でも 16:9 でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。
アスペクト比	説明												
4:3	4:3 のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および 4:3 アスペクト比の DVD ムービーのような 4:3 画像に最適です。												
16:9	16:9 のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに 16:9 のアスペクト比の画像に最適です。												
Native (ネイティブ)	画像を元の解像度で投影し、表示領域内に収まるようにサイズ変更します。より低い解像度の入力信号の場合、投影された画像は元のサイズで表示されます。												
LBX	非 16:9 レターボックスソースの場合、外部 16:9 レンズを使用して 2.35:1 のアスペクト比をフル解像度で表示する場合。												
Auto (自動)	プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3 でも 16:9 でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。												
<p style="text-align: center;">Edge Mask (エッジマスク)</p>	<p>ビデオソースの端にあるビデオエンコーディングノイズを削除します。</p>												
<p style="text-align: center;">Zoom (ズーム)</p>	<p>投影画像を縮小または拡大します。</p>												
<p style="text-align: center;">Image Shift (画像シフト)</p>	<p>投影画像を水平または垂直に調整します。</p>												

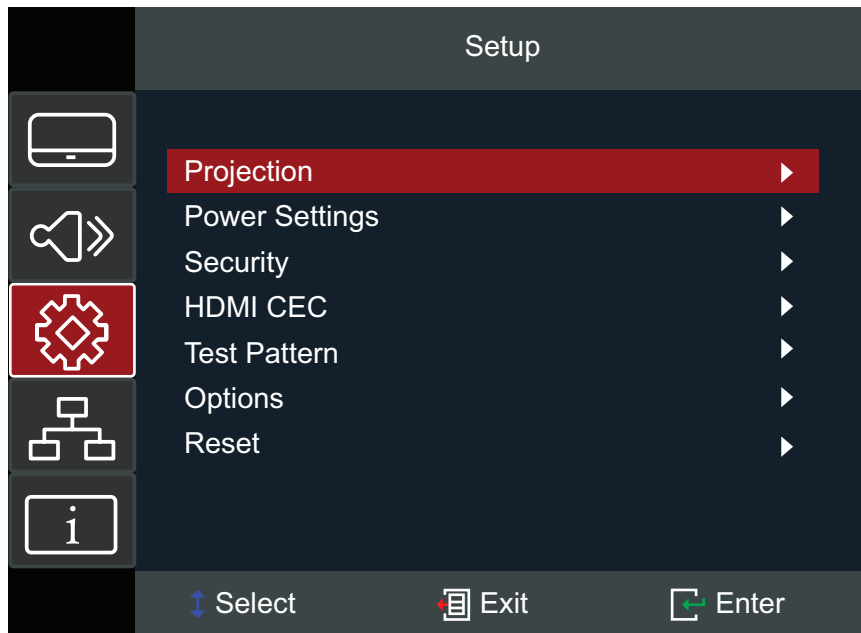
メニュー	詳細	
<p style="text-align: center;">Keystone (キーストーン)</p>	<p style="text-align: center;">オプション</p>	<p style="text-align: center;">説明</p>
	<p style="text-align: center;">Four Corners (4 コーナー)</p>	<p>投影面が水平でないときに、各コーナーを調整して正方形の画像を作成します。</p> <p>注意事項: 4 コーナーを調整すると、アスペクト比、エッジマスク、画像シフト、ズームメニューが無効になります。それらを有効にするには、キーストーン設定をデフォルトにリセットします。</p>
	<p style="text-align: center;">H. Keystone (水平キーストーン)</p>	<p>画像の歪みを水平に調整します。</p>
	<p style="text-align: center;">V. Keystone (垂直キーストーン)</p>	<p>画像の歪みを垂直に調整します。</p>
	<p style="text-align: center;">Auto Keystone (自動キーストーン)</p>	<p>キーストーンを自動的に修正します。</p>
<p style="text-align: center;">Reset (リセット)</p>	<p>キーストーン設定をデフォルトに戻します。</p>	

オーディオメニュー



メニュー	説明
Mute (ミュート)	一時的に音をオフにします。
Volume (音量)	音量レベルを調整します。

セットアップメニュー

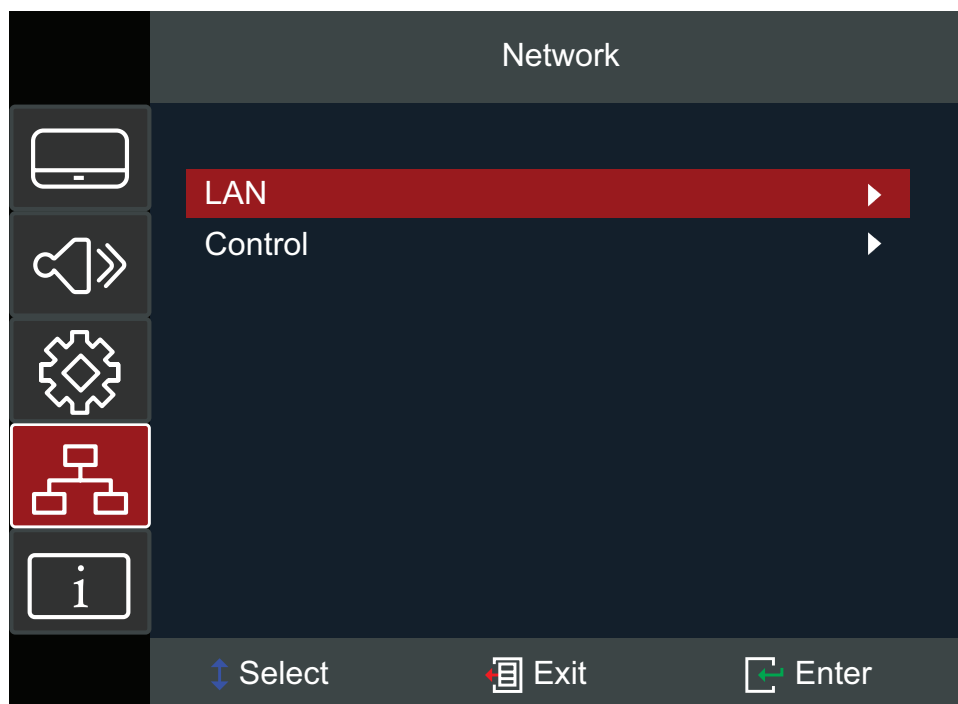


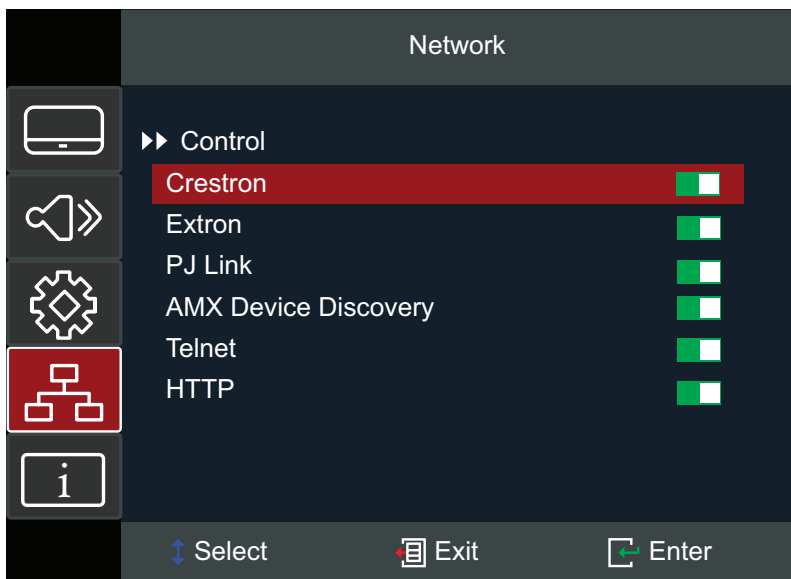
メニュー	説明						
Projection (投影)	優先される投影 (フロント、リア、天井トップ、リアトップ) を選択します。						
Power Settings (電源設定)	<p><u>Direct Power On (直接電源オン)</u> プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押すことなく、AC 電源が供給されるときにプロジェクターに自動的に電源を入れます。</p> <p><u>Signal Power On (信号電源オン)</u> プロジェクターまたはリモコンに電源ボタンを押すことなく、信号が検出されたときにプロジェクターに自動的に電源を入れます。</p> <p><u>Auto Power Off (自動電源オフ)</u> プロジェクターに信号が送信されていないときに、カウントダウンタイマーが開始されます。カウントダウンが終了すると、プロジェクターは自動的に電源が切れます (数分後)。</p> <p><u>Power Mode (Standby) (電源モード (スタンバイ))</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>モード</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Active (アクティブ)</td> <td>USB 電源が利用可能な場合の通常のスタンバイ (>0.5W)。</td> </tr> <tr> <td>Eco (エコ)</td> <td>USB 電源がない場合、電力使用量 (<0.5W) を減らします。</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>USB Power (Standby) (USB 電源 (スタンバイ))</u> プロジェクターがスタンバイモードの場合、USB 電源機能を有効または無効にします。</p>	モード	説明	Active (アクティブ)	USB 電源が利用可能な場合の通常のスタンバイ (>0.5W)。	Eco (エコ)	USB 電源がない場合、電力使用量 (<0.5W) を減らします。
モード	説明						
Active (アクティブ)	USB 電源が利用可能な場合の通常のスタンバイ (>0.5W)。						
Eco (エコ)	USB 電源がない場合、電力使用量 (<0.5W) を減らします。						

メニュー	説明
Security (セキュリティ)	<p><u>Security (セキュリティ)</u> プロジェクターを使用する前に、パスワードプロンプトを有効または無効にします。</p> <p>注意事項: デフォルトのパスワードは次のとおりです: 1234</p> <p><u>Security Timer (セキュリティタイマー)</u> プロジェクターを使用できる時間を設定します。この時間が経過すると、パスワードを再度入力するように要求されます。</p> <p><u>Change Password (パスワードの変更)</u> パスワードを設定または変更します。</p>
HDMI CEC	<p>HDMI CEC 互換性のあるデバイスを HDMI ケーブルを使用してプロジェクターに接続すると、プロジェクターの OSD の HDMI CEC 制御機能を使用して、同じ電源オンまたは電源オフステータスでプロジェクターを制御できます。これにより、グループ内の 1 つのデバイスまたは複数のデバイスを HDMI CEC を介して電源を入れたり、電源を切ったりすることができます。</p> <p>注意事項:</p> <ul style="list-style-type: none"> • CEC 機能が正常に動作するためには、デバイスが HDMI ケーブルを介してプロジェクターの HDMI 入力に正しく接続され、その CEC 機能がオンになっていることを確認してください。 • 接続されたデバイスによっては、CEC 機能が機能しない場合があります。
Test Pattern (テストパターン)	<p>緑色のグリッド、マゼンタ色のグリッド、白色のグリッド、白色からテストパターンを選択するか、この機能を無効 (オフ) にします。</p>

メニュー	説明
Options (オプション)	<p><u>Language (言語)</u> オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの言語を選択します。</p> <p><u>Menu Settings (メニュー設定)</u> スクリーン上のメニュー位置を設定し、メニュータイマー設定を構成します。</p> <p><u>Auto Source (自動ソース)</u> 利用可能な入力ソースを自動的に見つけます。</p> <p><u>Input Source (入力ソース)</u> 入力信号 (HDMI 1 または HDMI 2) を選択します。</p> <p><u>High Altitude (高地)</u> オンのとき、ファンはより速くスピンして、冷却と性能を向上させます。これは、空気が薄い高地環境に役立ちます。</p> <p><u>Logo (ロゴ)</u> 「起動画面」を設定します。変更が行われた場合、プロジェクターが次に電源を入れたときに有効になります。</p> <p><u>Background Color (背景色)</u> 信号が使用できない場合は、青、赤、緑、または灰色の色、またはロゴ画面を表示します。 注意事項: 背景色がなしに設定されている場合、背景色は黒になります。</p>
Reset (リセット)	<p>設定をデフォルトに戻します。 注意事項: リセットする場合、次の設定はそのまま維持されます:ズーム、キーストーン設定、言語、投影、USB 電源 (スタンバイ)、電源モード (スタンバイ)、高地モード、セキュリティ設定、ネットワーク設定、光源時間情報。</p>

ネットワークメニュー



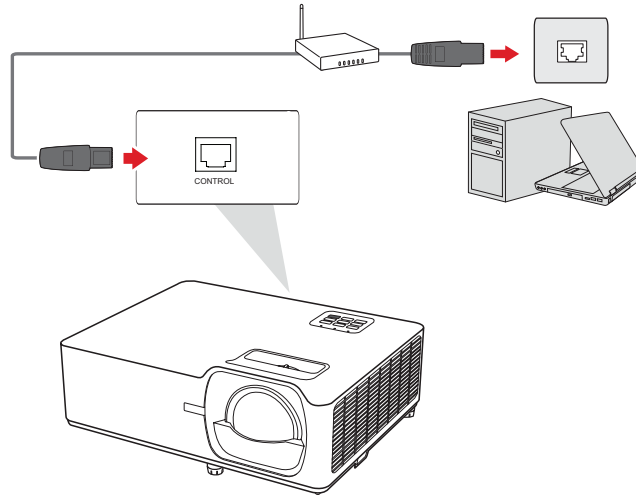
メニュー	説明
LAN	ネットワーク情報を表示し、DHCP を有効 / 無効にします。
Control (制御)	<p>ネットワーク制御スイートを有効または無効にします。 注意事項: 正常に接続するには、制御スイートを有効にする必要があります。</p>  <p>The screenshot shows the "Control" menu with the following items and their status (indicated by a green square):</p> <ul style="list-style-type: none"> Control (expanded) Crestron (checked) Extron (checked) PJ Link (checked) AMX Device Discovery (checked) Telnet (checked) HTTP (checked)

ネットワークを介してプロジェクターを制御する

プロジェクターは、多様なネットワーク管理機能とリモート管理機能を提供します。プロジェクターの LAN/RJ45 機能（電源のオン/オフ、音量調整、入力選択、輝度など）は、ネットワークを介してリモートで管理できます。

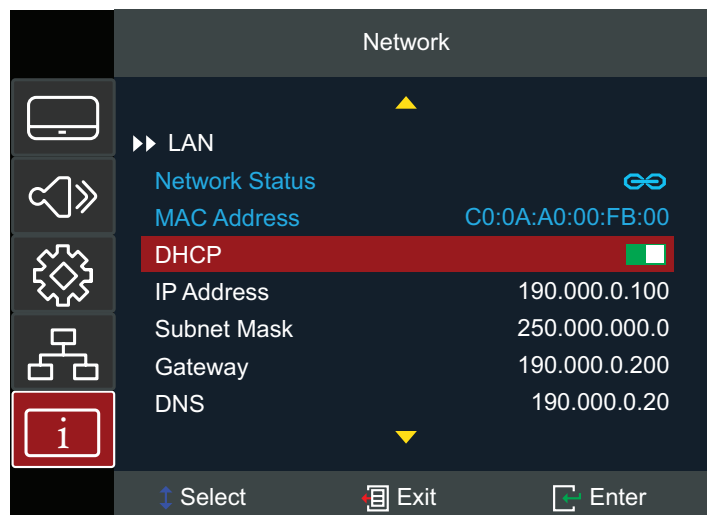
注意事項： [Network(ネットワーク)] > [Control(制御)] > [HTTP] が有効になっていることを確認してください。

1. LAN/RJ45 ポートを介してプロジェクターをネットワークに接続します。



2. オンスクリーンディスプレイメニューを開いて、[Network(ネットワーク)] > [LAN] に移動します。
3. [DHCP] を選択し、それを**オン**にして、IP アドレスを自動的に取得します。または、[Off(オフ)] を選択してネットワーク情報を手動で入力します。

注意事項： 約 15 ~ 20 秒待ってから、LAN 設定ページに再度入ってください。プロジェクター IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー設定が表示されます。プロジェクター IP アドレス行に表示されている IP アドレスに注意してください。

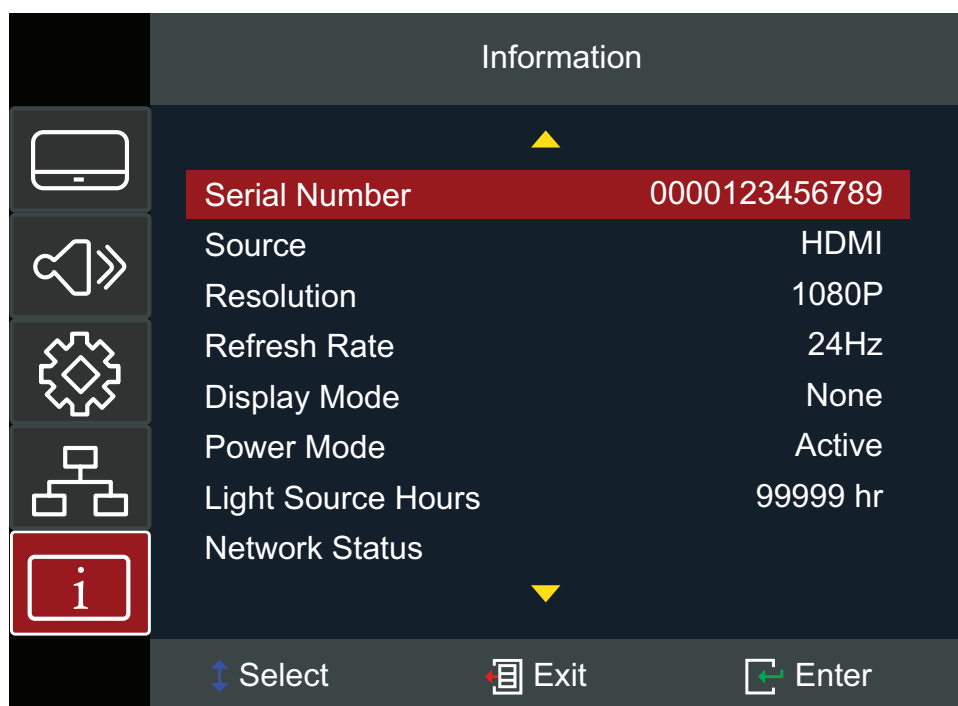


4. Web ブラウザーを使用し、同じネットワークの下で、プロジェクターの IP アドレスを入力します。
5. ユーザー名とパスワードを入力し、[Log in(ログイン)] をクリックします。

注意事項： デフォルトのユーザー名とパスワードは *admin* です。

情報メニュー

シリアル番号、ソース、解像度、リフレッシュレート、ディスプレイモード、電源モード、光源時間、ネットワークステータス、IP アドレス、輝度モード、ファームウェアバージョン情報を表示します。



付録

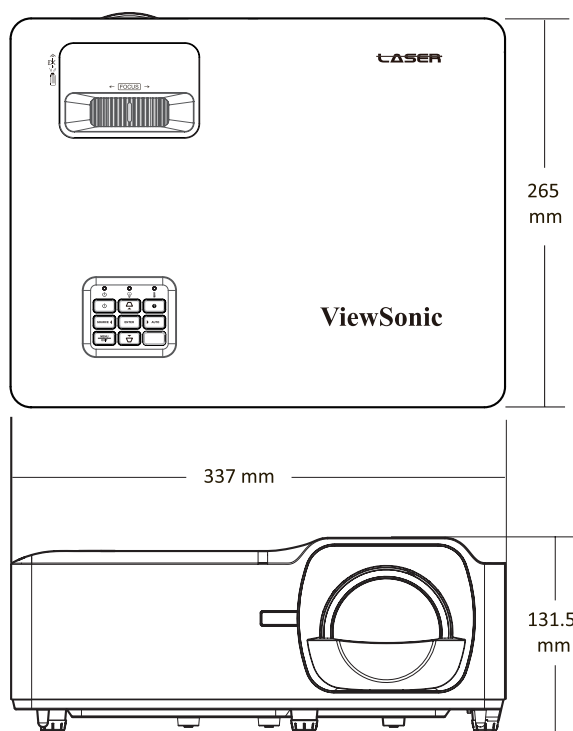
仕様

項目	区分	仕様	
		LS710HD	LS751HD
プロジェクター	タイプ	レーザー	
	画面サイズ	40 インチ～ 300 インチ	30 インチ～ 300 インチ
	スローレシオ	0.49 ± 3% (100 インチ @1.08m)	1.4 ～ 2.24 ± 3% (100 インチ @3.10m)
	光学ズーム	固定	1.6x
	ディスプレイシステム	1-CHIP DMD	
入力信号	HDMI	f_h :15 ～ 102kHz、 f_v :23 ～ 120Hz、: 170MHz	
解像度	ネイティブ	1920 x 1080	
電源	入力電圧	AC 100 ～ 240V、50/60Hz (自動切替)	
動作環境	温度	0° C ～ 40° C (32° F ～ 104° F)	
	湿度	10% ～ 80% (非結露)	
	高度	0 ～ 2,500 フィート (0° C ～ 40° C) 2,500 ～ 5,000 フィート (0° C ～ 35° C) 5,000 ～ 12,000 フィート (0° C ～ 30° C)	
保管環境	温度	-10° C ～ 60° C (14° F ～ 140° F)	
	湿度	10% ～ 90% (非結露)	
	高度	0 ～ 12.1 km (0 ～ 40,000 フィート)	
寸法	寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	337 x 265 x 131.5 mm (13.27 x 10.43 x 5.18 インチ)	
重量	寸法	4.5 kg (9.92 ポンド)	
節約モード	オン ¹	245W (標準)	
	オフ	< 0.5W (スタンバイ)	

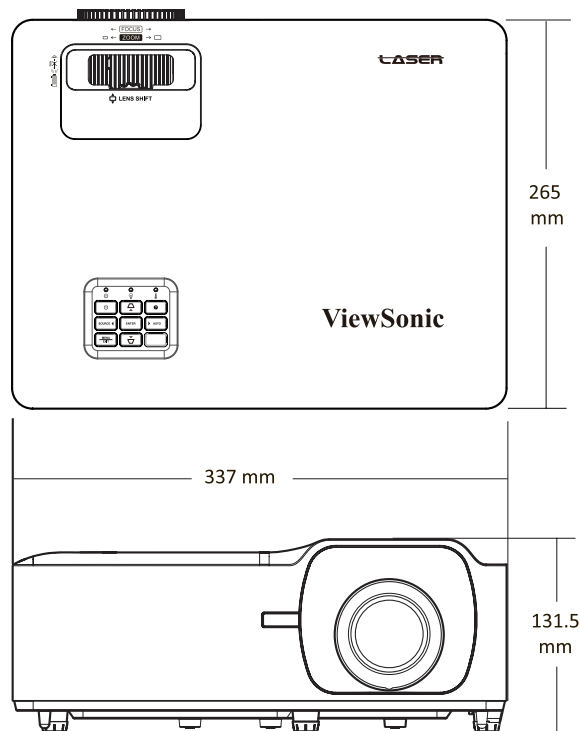
¹試験条件は EEI 標準に従ったものです。

プロジェクターの寸法

337 mm (幅) x 131.5 mm (高さ) x 265 mm (奥行)



LS710HD



LS751HD

タイミングチャート

HDMI ビデオタイミング

タイミング	解像度 (ドット)	リフレッシュレート (Hz)
SDTV (480p)	720 x 480	60
SDTV (576i)	720 x 576	50
SDTV (576p)	720 x 576	50
HDTV (720p) ²	1280 x 720	50 / 60
HDTV (1080p) ²	1920 x 1080	24 / 30 / 50 / 60
HDTV (1080i)	1920 x 1080	50 / 60

HDMI PC タイミング

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)	Macの場合の注意事項
VGA	640 x 480	60/120	Mac 60/72/85
SVGA	800 x 600	60/72/85/120	Mac 60/72/85
XGA	1024 x 768	50/60/70/75/85/120	Mac 60/70/75/85
480i	720 x 480	60	
WSVGA	1024 x 600	60	
WXGA	1280 x 768	60/75/85	Mac 75
WXGA	1280 x 800	60/120	Mac 60
WXGA	1366 x 768	60	
WXGA+	1440 x 900	60	
SXGA	1280 x 1024	60/75/85	Mac 60/75
SXGA+	1400 x 1050	60	
UXGA	1600 x 1200	60	
WUXGA	1920 x 1200 ³	60	Mac 60
UHD (2160p)	3840 x 2160	244/254/304/50/60	
4K2K (2160p)	4096 x 2160	244/25/50/60	

² Mac 60

³ 1920 x 1200@60Hz は RB (Reduced Blanking) のみをサポートします

⁴ HDMI 1 UHD/4K2K タイミングのみをサポート

3D サポートタイミング

信号	Resolution (解像度)	リフレッシュレ ート (Hz)	形式	注意事項
720p	1280 x 720p	50/60	トップアンドボトム	3D Infoframe 情報付き
	1280 x 720p	50/60	フレームパッキング	
1080i	1920 x 1080i	50/60	サイドバイサイド (ハーフ)	
1080p	1920 x 1080p	24	トップアンドボトム	
	1920 x 1080p	24	フレームパッキング	
720p	1280 x 720p	50/60	サイドバイサイド (ハーフ) SBS モードはオン	3D Infoframe 情報なし
1080i	1920 x 1080i	50/60	サイドバイサイド (ハーフ) SBS モードはオン	
720p	1280 x 720p	50/60	トップアンドボトム TAB モードはオン	3D Infoframe 情報なし
1080i	1920 x 1080i	50/60	トップアンドボトム TAB モードはオン	

注意事項：

- 1080i@25Hz および 720p@50Hz は 100 Hz で実行されます。他の 3D タイミングは 120 Hz で実行されます。
- 1080P@24Hz は 144Hz (XGA、WXGA、1080p) /96Hz (WUXGA) で動作します。
- 入力フレームレートが 48Hz 以上の場合、出力フレームレートは入力フレームレートの 2 倍に設定されます (FRC = 2x モード)。
- 3D 入力フレームレートが 25Hz 以上の場合、出力フレームレートは入力フレームレートの 4 倍に設定されます (FRC = 4x モード)。
- 3D 入力フレームレートが 24Hz (23.9Hz を含む) の場合、出力フレームレートは入力フレームレートの 6 倍に設定されます (FRC = 6x モード)。

トラブルシューティング

本章では、プロジェクターを使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
プロジェクターの電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">電源コードがプロジェクターとコンセントに正しく接続されていることを確認してください。冷却プロセスが完了していない場合は、終了するまで待ってからもう一度プロジェクターの電源を入れてください。上記の方法でうまくいかない場合は、別のコンセントまたは同じコンセントで別の電気機器を試してください。
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">ビデオソースケーブルが正しく接続され、ビデオソースがオンになっていることを確認してください。入力ソースが自動的に選択されていない場合は、プロジェクターまたはリモコンの「Source Input (ソース入力)」で正しいソースを選択してください。
画像がぼやけている	<ul style="list-style-type: none">フォーカスリングを使ってフォーカスを調整すると、プロジェクタレンズのフォーカスを正確に合わせることができます。プロジェクターとスクリーンが正しく整列していることを確認してください。必要に応じて、プロジェクターの高さ、および投影角度と方向を調整してください。
画像が逆になっている	<ul style="list-style-type: none">OSD メニューを開き、[Setup (セットアップ)] > [Projection (投影)] に移動し、投影オプションを調整してください。

問題	解決策
16:9 の DVD を投影すると映像が引き伸ばされる	<ul style="list-style-type: none"> • アナモルフィック DVD または 16:9 の DVD を再生すると、プロジェクターは 16:9 で最高の画像を表示します。 • 4:3 形式の DVD タイトルを再生する場合は、プロジェクター OSD メニューの形式トを 4:3 に変更してください。 • DVD プレーヤーのディスプレイ形式を 16:9 (ワイド) アスペクト比としてセットアップしてください。
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> • リモコンとプロジェクターの間に障害物がないことを確認してください。そしてそれらが以下の範囲内にあることを確認してください： <ul style="list-style-type: none"> » フロント IR:10m (32.8 フィート)。 » トップ IR:7m (23 フィート)。 • 電池が切れている可能性があります。確認して、必要に応じて交換してください。
プロジェクターが、すべての制御に応答しない	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクターをオフにし、電源コードを抜いてください。少なくとも 20 秒待ってから、再接続して再試行してください。

LED インジケータ

警告インジケータ（以下を参照）が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。プロジェクターから電源コードを抜いて、30 秒間待って、もう一度やり直してください。警告インジケータが点灯または点滅する場合は、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

ステータスと説明	電源インジケータライト		温度インジケータライト	光源インジケータライト
	赤	青	赤	赤
スタンバイ状態 (電源コード入力)	点灯			
電源オン (ウォーミング中)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)		
電源オンとランプ照明		点灯		
電源オフ (冷却中)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン) 冷却ファンがオフになったら、赤いライトが点灯します。		
クイック再開 (100 秒)		点滅 (0.25 秒オフ / 0.25 秒オン)		
エラー (ランプ故障)	点滅			点灯
エラー (ファン故障)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	

メンテナンス

お手入れの際の注意

- プロジェクターのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- プロジェクターから部品を取り外さないでください。プロジェクターの部品を交換する必要がある場合は、ViewSonic® または販売店にお問い合わせください。
- 絶対にケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- プロジェクターは十分注意してお取扱いください。傷がついた場合、跡が残る可能性があります。

レンズを清掃する

- ほこりを取り除くために圧縮空気のキャニスターを使用してください。
- それでもレンズが汚れている場合は、レンズクリーニングペーパーを使用するか、レンズクリーナーで柔らかい布を湿らせて、表面をやさしく拭いてください。

注意： レンズを研磨剤でこすらないでください。

ケースのお手入れ

- 柔らかい、糸くずの出ない乾いた布で汚れやほこりを取り除いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量ケースにつけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

注意： ワックス、アルコール、ベンゼン、シンナー、その他の化学洗剤を絶対に使用しないでください。

プロジェクターを保管する

プロジェクターを長期間保管する場合は、次の手順を実行してください。

- 保管場所の温度と湿度が推奨範囲内であることを確認してください。
- アジャスターフットを完全に引き込みます。
- リモコンから電池を取り出します。
- プロジェクターを、元の梱包材または同等の梱包材で梱包してください。

免責事項

- ViewSonic® は、レンズまたはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗浄剤は、プロジェクターのレンズおよび / またはケースを損傷することが報告されています。
- ViewSonic® は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

規制および補修情報

コンプライアンス情報

ここでは、関連する要件や規制に関する声明について説明します。正確な用途は、ネームプレートのラベルおよび本体に表記されるマーク等をご確認ください。

FCC 準拠宣言

本製品は、FCC 規定の第 15 条に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規定されます。(1) 電波障害を起こさないこと (2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、クラス B デジタル機器の制限に従っています。

これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本装置は高周波エネルギーを生成および使用し、また放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しない場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の 방법으로設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしてください。


- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える。
- このデバイスと受信装置の距離をあげる。
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する。
- ディーラーか経験のあるラジオ/TV 技術者に問い合わせる。

警告: コンプライスに責任を持つ団体が認めない改造や変更を行うと、本機を操作する権利が失効します。

Industry Canada Statement

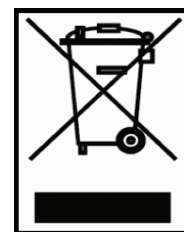
CAN ICES-003(B) / NMB-003(B)

ヨーロッパ諸国における CE 準拠

 本機は EMC 指令 2014/30/EU および低電圧指令 2014/35/EU に準拠します。エコデザイン指令 2009/125/EC。

以下は、ヨーロッパ連合加盟国のための情報です。

右に示すマークは、WEEE 指令 2012/19/EU に準拠していることを意味します。マークは本機を無分別ゴミとして処理するのではなく、お住まい地域の条例に基づいて廃棄する必要があることを示しています。



RoHS2 準拠宣言

本機は、電気電子機器 (RoHS2 指令) における特定の有害物質の使用に関する制限にかかる欧州議会・理事会指令 2011/65/EU に準拠して設計、製造されており、以下に示すとおり欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する最大濃縮率に準拠しています。

物質	最高濃度案	実際の濃度
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
六価クロム (Cr6+)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジエチルヘキシル (DEHP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ベンジルブチル (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

前述の一部の製品部品は、下記のとおり RoHS2 指令の付録 III から除外されます。

- 特定用途における冷陰極蛍光管および外部電極蛍光管 (CCFL および EEFL) に含まれる下記の量を超えない水銀 (ランプ 1 個あたり) :
 - » 最短 (500 mm) : ランプあたり最大 3.5 mg。
 - » 中 (> 500 mm および 1,500 mm) : ランプあたり最大 5 mg。
 - » 最長 (1,500 mm) : ランプあたり最大 13 mg。
- 陰極線管のガラス内に含まれる鉛。
- 蛍光管のガラス内に含まれる鉛が重量の 0.2% を超えないこと。
- アルミニウムに含まれる合金元素としての鉛が重量の 0.4% を超えないこと。
- 銅合金に含まれる銅が重量の 4% を超えないこと。
- 高融点タイプのはんだに含まれる銅 (重量の 85% 以上が銅の銅ベースの合金など)。
- 圧電性機器など、蓄電器の誘電体磁器以外のガラスまたは磁器に含まれる鉛を含む電気および電子部品、またはガラスや磁器マトリックス混合物。

インドの有害物質に関する制限

有害物質に関する制限宣言（インド）本製品は「India E-waste Rule 2011」に準拠しており、同規則の別表 2 に記載する例外を除き、重量の 0.1% を超える量の鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル、重量の 0.01% を超える量のカドミウムの使用を禁止しています。

廃棄処分について

ViewSonic® は環境保護を重視し、人々がエコな環境で働き、生活できることに最善を尽くします。よりスマートな、より環境に優しいコンピューティングへのご協力に感謝します。詳細は、ViewSonic® ホームページをご覧ください。

米国およびカナダ：

<https://www.viewsonic.com/us/go-green-with-viewsonic>

ヨーロッパ：

<https://www.viewsonic.com/eu/go-green-with-viewsonic>

著作権情報

Copyright© ViewSonic® Corporation、2023。 All rights reserved。

Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国およびその他の国における Microsoft 社の登録商標です。

ViewSonic® および 3 羽のトリのロゴは、ViewSonic® 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。DPMS および DDC は VESA の商標です。

おことわり：ViewSonic® Corporation は、本書の技術的または編集的ミスについて、また記載されないことについていかなる責任も負いません。さらに、本製品を使用した結果生じたあらゆる偶発的、結果的損害について、本製品の性能または使用に関しても一切責任を負いません。

今後も製品の向上を図るために、ViewSonic® Corporation は予告なく製品仕様を変更する権利を有しています。本書の内容は、将来予告なく変更される場合があります。

本書の一部または全部を ViewSonic® 社の文書による許可なく複製、再生、転送することはいかなる方法においても固く禁止します。

カスタマーサービス

テクニカルサポートまたは製品補修については、下記の表に記載されるお問合せ先をご確認いただくか、販売店にお問合せください。

注: 製品のシリアル番号をお手元にご用意ください。

国/地域	ホームページ	国/地域	ホームページ
アジア太平洋地域およびアフリカ			
オーストラリア	www.viewsonic.com/au/	バングラデシュ	www.viewsonic.com/bd/
中国 (China)	www.viewsonic.com.cn	香港 (繁體中文)	www.viewsonic.com/hk/
香港 (英語)	www.viewsonic.com/hk-en/	インド	www.viewsonic.com/in/
インドネシア	www.viewsonic.com/id/	イスラエル	www.viewsonic.com/il/
日本 (Japan)	www.viewsonic.com/jp/	韓国	www.viewsonic.com/kr/
マレーシア	www.viewsonic.com/my/	中東	www.viewsonic.com/me/
ミャンマー	www.viewsonic.com/mm/	ネパール	www.viewsonic.com/np/
ニュージーランド	www.viewsonic.com/nz/	パキスタン	www.viewsonic.com/pk/
フィリピン	www.viewsonic.com/ph/	シンガポール	www.viewsonic.com/sg/
臺灣 (Taiwan)	www.viewsonic.com/tw/	ประเทศไทย	www.viewsonic.com/th/
Việt Nam	www.viewsonic.com/vn/	南アフリカおよびモーリシャス	www.viewsonic.com/za/
アメリカ			
合衆国	www.viewsonic.com/us	カナダ	www.viewsonic.com/us
ラテンアメリカ	www.viewsonic.com/la		
ヨーロッパ			
ヨーロッパ	www.viewsonic.com/eu/	フランス	www.viewsonic.com/fr/
Deutschland	www.viewsonic.com/de/	Қазақстан	www.viewsonic.com/kz/
Россия	www.viewsonic.com/ru/	España	www.viewsonic.com/es/
Türkiye	www.viewsonic.com/tr/	Україна	www.viewsonic.com/ua/
英国	www.viewsonic.com/uk/		

限定保証

ViewSonic® プロジェクター

保証範囲：

ViewSonic は保証期間内において、通常の使用の下で材料および製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間内に材料および製造上の欠陥が認められる場合は、ViewSonic の独自の判断により製品を修理または同等製品と交換します。交換製品またはパーツには、再生または改修済みパーツまたはコンポーネントも含まれます。

3年間の一般保証

以下に、1年保証が設定されているものを示します。南北アメリカ：ランプを除く全パーツは3年間、生産に関する故障は3年間、最初のランプで最初の購入日から1年間。

その他の地域および国：保証に関する詳細は、お近くの販売店または ViewSonic 社へおたずねください。

重用における1年保証：

本機を日常的に1日平均14時間以上重用する場合。南北アメリカ：ランプを除く全パーツは1年間、生産に関する故障は1年間、最初のランプで最初の購入日から90日間。ヨーロッパ：ランプを除く全パーツは1年間、生産に関する故障は1年間、最初のランプで最初の購入日から90日間。

その他の地域および国：保証に関する詳細は、お近くの販売店または ViewSonic 社へおたずねください。

ランプの保証は、諸条件、検証および承認の対象となります。メーカーが取り付けたランプに限ります。別途購入された全アクセサリランプの保証期間は90日間です。

保証対象者：

この保証は、最初の購入者に対してのみ提供されます。

保証対象外：

1. シリアル番号が破損、改ざん、取り外されている製品。
2. 破損、劣化、故障の原因：
 - a. 事故、乱用、誤用、放置、火災、水害、落雷、その他の自然災害、不適切なメンテナンス、許可されない改造、本製品に付帯される指示に従わない使用。
 - b. 製品仕様外の操作。
 - c. 常識外での製品使用や異常な状態での使用。
 - d. ViewSonic が認めない人物による補修または補修の試み。
 - e. 出荷時の不具合。
 - f. 製品の撤去または設置。
 - g. 電力サージや停電などの外部からの原因。
 - h. ViewSonic の仕様に合わない部品の使用。
 - i. 通常の摩耗、消耗。
 - j. 製品の欠陥に関係しない原因。
3. 撤去、設置、設置サービス費。

補修を受けるには：

1. 保証範囲内において補修サービスを受けるには、ViewSonic カスタマーサービスにお問合せください (カスタマーサービス ページをご覧ください)。製品のシリアル番号をお手元にご用意ください。
2. 保証サービスを受けるには、(a) 購入日、(b) お客様のお名前、(c) ご住所、(d) 問題の詳細、(e) 製品のシリアル番号が必要です。
3. 製品を元の梱包材料に入れて、元払いで ViewSonic サービスセンターまでお送りください。
4. 詳しい情報や、お近くの ViewSonic サービスセンターの名称については、ViewSonic 社までお問合せください。

黙示的保証の制限：

商用性または特定目的への適合性に対する黙示的保証を含め、ここに含まれない明示的または黙示的保証は一切行いません。

故障の除外：

ViewSonic の責任範囲は、製品の補修または交換を上限とします。ViewSonic の責任の除外：

1. このようなダメージの可能性が知らされていたとしても、本製品の欠陥により生じた他の所有物へのダメージ、不便性によるダメージ、使用の損失、利益の損失、商的机会の損失、のれんの減損、ビジネスパートナーとの関係性への干渉、その他の商的損失。
2. 偶発的、派生的に生じた故障。
3. 第三者からのお客様に対する苦情。

現地法の有効性：

この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。一部の行政は示唆的保証の制限、偶発的または派生的ダメージの例外を認めない場合があります。その場合は、上記の制限や例外は適用されません。

米国およびカナダ以外での販売：

米国およびカナダ以外の国で販売された ViewSonic 製品に関する保証やサービスについては、ViewSonic またはお近くの販売店へお問合せください。

中国本土（香港、マカオ、台湾を除く）における本製品の保証期間は、メンテナンス保証カードに記載されている条件に基づきます。

ヨーロッパおよびロシアのお客様については、保証内容はホームページでご覧いただけます (www.viewsoniceurope.com under Support/Warranty Information)。



ViewSonic®